

令和3年度大学基本データ分析による 点検・評価書

令和4年2月

国立大学法人千葉大学
運営基盤機構大学評価部門
認証評価対応部会

1. 大学基本データ分析による点検・評価

①点検・評価項目

項目		評価レベル	優れた点	改善を要する点	検討を要する点	ページ
項目 1	専任教員数	適合	—	—	—	1
		適合	—	—	—	1
		適合	—	—	—	1
項目 2	年齢別本務教員数	B	—	—	○	2
項目 3	女性教員の比率	B	—	—	—	4
項目 4	外国人教員の比率	B	—	—	—	5
項目 5	入試状況(志願倍率、定員超過率等)および収容定員に対する充足状況	B	○	○	—	6
		C	—	○	—	6
		C	—	○	—	8
項目 6	単位修得状況及び学生の成績分布	B	—	—	—	12
		B	—	—	—	12
項目 7	休学者、退学者、留年者数	B	—	—	○	14
項目 8	資格取得状況	B	○	○	—	17
項目 9	卒業・修了者数及び就職率	B	—	—	—	19
		B	—	—	○	20
項目 10	T A・R Aの雇用実績	A	○	—	—	23
		B	—	—	○	23
項目 11	科学研究費補助金の申請・内定状況	B	—	—	—	25
項目 12	競争的外部資金(科研費を除く)の採択状況	B	—	—	—	27
項目 13	共同研究・受託研究の実施状況	B	—	—	—	29
項目 14	寄附金の受入状況	B	—	—	—	31
項目 15	F D研修会の実施状況	B	—	—	—	33
項目 16	授業改善に向けての取組状況	B	—	—	○	34
		B	—	—	○	35
項目 17	自己点検・評価の実施状況	B	—	—	—	37
		B	—	—	○	37
		B	—	—	—	38
項目 18	卒業(修了)生や就職先等の関係者からの意見聴取等の実施状況	B	—	—	—	39
項目 20	内部質保証が機能していることのエビデンス	B	—	—	—	40
項目 28	千葉大学学習状況・情報利用環境調査	B	—	—	—	41

②点検のみ実施する項目

項目		評価レベル	優れた点	改善を要する点	検討を要する点	ページ
項目 1 9	教員公募の実施状況					42
項目 2 1	年俸制・クロスアポイントメント教員数					43
項目 2 2	テニユアトラック制の実施状況					44
項目 2 3	留学生等の数					45
項目 2 4	社会人学生数					46
項目 2 5	海外留学・海外派遣の実施状況					48
項目 2 6	産業財産権・特許の出願・取得状況					49
項目 2 7	研究業績の発表状況					50

2. 参考

①国立大学法人千葉大学点検・評価規程	52
②国立大学法人千葉大学における全学の点検・評価に関する実施要項	55
③大学基本データ分析による点検・評価実施要領	58
④国立大学法人千葉大学における全学の点検・評価に関する実施要項第 2 項の大学基本データについて	59
⑤令和 3 年度大学基本データ分析による全学の点検・評価の項目等について	60
⑥平成 28 年度以降の国立大学の学部における定員超過の抑制について(H27.7.31 付け文部科学省高等教育局長通知)	63
⑦大学機関別認証評価自己評価実施要領(令和 3 年度実施分)(抜粋)	67
⑧第 3 期中期目標期間の業務実績評価に係る実施要領(抜粋)	68

1. 大学基本データ分析による点検・評価

①点検・評価項目

点検・評価項目	評価基準	点検・評価結果	
		判断理由等	評価レベル
項目1 専任教員数	○学士課程において、必要な専任教員が確保されているか。	【収集データの分析】 専任教員(R3/5/1 時点)データを分析する。 大学設置基準第 13 条に定められた専任教員数以上の専任教員が確保されている。	基準等に適合
		【優れた点】 —	
		【改善を要する点】 —	
		【検討を要する点】(評価レベルには影響しない) —	
	○大学院課程(専門職学位課程を除く)において、必要な研究指導教員および研究指導補助教員が確保されているか。	【収集データの分析】 専任教員(R3/5/1 時点)データを分析する。 大学院設置基準第 9 条および「大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件(文部省告示第 175 号)」に定められた数の研究指導教員および研究指導補助教員が確保されている。	基準等に適合
		【優れた点】 —	
		【改善を要する点】 —	
		【検討を要する点】(評価レベルには影響しない) —	
	○専門職学位課程において、必要な専任教員(実務の経験を有する教員を含む)が確保されているか。	【収集データの分析】 専任教員(R3/5/1 時点)データを分析する。 専門職大学院設置基準第 5 条および「専門職大学院に関し必要な事項について定める件(文部科学省告示第 53 号)」第 1 条および第 2 条に定める基準を満たす専任教員(実務家教員を含む)が確保されている。	基準等に適合
		【優れた点】 —	
		【改善を要する点】 —	
		【検討を要する点】(評価レベルには影響しない) —	

点検・評価項目	評価基準	点検・評価結果																																																													
		判断理由等	評価レベル																																																												
項目2 年齢別 本務教員数	○教員組織の活動をより活性化するための適切な措置として、年齢のバランスがとれているか。	<p>【収集データの分析】</p> <p>本務教員の年齢構成(R3/5/1時点)を分析する。</p> <p>本務教員(1,333人)の年齢構成</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年齢</th> <th>人数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>～24歳</td> <td>0人</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>25～34歳</td> <td>76人</td> <td>5.7%</td> </tr> <tr> <td>35～44歳</td> <td>406人</td> <td>30.5%</td> </tr> <tr> <td>45～54歳</td> <td>430人</td> <td>32.3%</td> </tr> <tr> <td>55～64歳</td> <td>380人</td> <td>31.5%</td> </tr> <tr> <td>65歳～</td> <td>41人</td> <td>3.1%</td> </tr> </tbody> </table> <p>特任教員を除いた本務教員(1,116人)の年齢構成</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年齢</th> <th>人数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>～24歳</td> <td>0人</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>25～34歳</td> <td>39人</td> <td>3.5%</td> </tr> <tr> <td>35～44歳</td> <td>315人</td> <td>28.2%</td> </tr> <tr> <td>45～54歳</td> <td>379人</td> <td>34.0%</td> </tr> <tr> <td>55～64歳</td> <td>353人</td> <td>31.6%</td> </tr> <tr> <td>65歳～</td> <td>30人</td> <td>2.7%</td> </tr> </tbody> </table> <p>本務教員の場合、特任教員を除いた本務教員の場合のいずれにおいても「35～44歳」、「45～54歳」、「55～64歳」の比率のバランスが取れており、「25～34歳」の比率が「65歳～」の比率を上回っている。</p> <p>ただし、以下の教員組織は「55歳～64歳」と「65歳～」を合わせた比率が40%を上回っており、年齢構成が偏っている。</p> <p>「55歳～64歳」と「65歳～」を合わせた比率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教員組織</th> <th>本務教員の場合</th> <th>特任教員を除いた本務教員の場合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教育学部</td> <td>48.4%</td> <td>49.0%</td> </tr> <tr> <td>人文科学研究院</td> <td>45.6%</td> <td>45.6%</td> </tr> <tr> <td>理学研究院</td> <td>45.3%</td> <td>48.3%</td> </tr> <tr> <td>園芸学研究院</td> <td>43.3%</td> <td>46.8%</td> </tr> <tr> <td>看護学研究院</td> <td>43.4%</td> <td>45.1%</td> </tr> </tbody> </table> <p>以上から、教員組織の活動をより活性化するための適切な措置として、概ね年齢のバランスがとれているが、一部の教員組織については検討を要すると評価する。</p>	年齢	人数	割合	～24歳	0人	0%	25～34歳	76人	5.7%	35～44歳	406人	30.5%	45～54歳	430人	32.3%	55～64歳	380人	31.5%	65歳～	41人	3.1%	年齢	人数	割合	～24歳	0人	0%	25～34歳	39人	3.5%	35～44歳	315人	28.2%	45～54歳	379人	34.0%	55～64歳	353人	31.6%	65歳～	30人	2.7%	教員組織	本務教員の場合	特任教員を除いた本務教員の場合	教育学部	48.4%	49.0%	人文科学研究院	45.6%	45.6%	理学研究院	45.3%	48.3%	園芸学研究院	43.3%	46.8%	看護学研究院	43.4%	45.1%	B
年齢	人数	割合																																																													
～24歳	0人	0%																																																													
25～34歳	76人	5.7%																																																													
35～44歳	406人	30.5%																																																													
45～54歳	430人	32.3%																																																													
55～64歳	380人	31.5%																																																													
65歳～	41人	3.1%																																																													
年齢	人数	割合																																																													
～24歳	0人	0%																																																													
25～34歳	39人	3.5%																																																													
35～44歳	315人	28.2%																																																													
45～54歳	379人	34.0%																																																													
55～64歳	353人	31.6%																																																													
65歳～	30人	2.7%																																																													
教員組織	本務教員の場合	特任教員を除いた本務教員の場合																																																													
教育学部	48.4%	49.0%																																																													
人文科学研究院	45.6%	45.6%																																																													
理学研究院	45.3%	48.3%																																																													
園芸学研究院	43.3%	46.8%																																																													
看護学研究院	43.4%	45.1%																																																													

		【優れた点】 —	
		【改善を要する点】 —	
		【検討を要する点】（評価レベルには影響しない） 一部の教員組織の年齢構成が偏っている。	

点検・評価項目	評価基準	点検・評価結果																																	
		判断理由等	評価レベル																																
項目3 女性教員の比率	○教員組織の活動をより活性化するための適切な措置として、性別のバランスへの配慮がされているか。(大学全体に占める女性教員の比率は向上されているか。)	<p>【収集データの分析】</p> <p>本務教員に占める女性教員比率の推移(R3/5/1、R2/5/1、R1/5/1 時点)を分析する。</p> <p>本務教員に占める女性教員比率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>時点</th> <th>女性教員比率</th> <th>女性教員数</th> <th>教員数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1/5/1</td> <td>22.0%</td> <td>288 人</td> <td>1,310 人</td> </tr> <tr> <td>R2/5/1</td> <td>22.1%</td> <td>290 人</td> <td>1,314 人</td> </tr> <tr> <td>R3/5/1</td> <td>22.9%</td> <td>305 人</td> <td>1,333 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>本務教員に占める女性教員比率は R1/5/1 時点～R3/5/1 時点の 3 年間で 0.9 ポイント上昇している。</p> <p>特任教員を除いた本務教員に占める女性教員比率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>時点</th> <th>女性教員比率</th> <th>女性教員数</th> <th>教員数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1/5/1</td> <td>20.6%</td> <td>229 人</td> <td>1,114 人</td> </tr> <tr> <td>R2/5/1</td> <td>20.8%</td> <td>229 人</td> <td>1,103 人</td> </tr> <tr> <td>R3/5/1</td> <td>21.9%</td> <td>244 人</td> <td>1,116 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>特任教員を除いた本務教員に占める女性教員比率は R1/5/1 時点～R3/5/1 時点の 3 年間で 1.3 ポイント上昇している。</p> <p>以上から、教員組織の活動をより活性化するための適切な措置として、概ね性別のバランスへの配慮がなされていると評価する。</p> <p>【優れた点】</p> <p style="text-align: center;">—</p> <p>【改善を要する点】</p> <p style="text-align: center;">—</p> <p>【検討を要する点】(評価レベルには影響しない)</p> <p style="text-align: center;">—</p>	時点	女性教員比率	女性教員数	教員数	R1/5/1	22.0%	288 人	1,310 人	R2/5/1	22.1%	290 人	1,314 人	R3/5/1	22.9%	305 人	1,333 人	時点	女性教員比率	女性教員数	教員数	R1/5/1	20.6%	229 人	1,114 人	R2/5/1	20.8%	229 人	1,103 人	R3/5/1	21.9%	244 人	1,116 人	B
時点	女性教員比率	女性教員数	教員数																																
R1/5/1	22.0%	288 人	1,310 人																																
R2/5/1	22.1%	290 人	1,314 人																																
R3/5/1	22.9%	305 人	1,333 人																																
時点	女性教員比率	女性教員数	教員数																																
R1/5/1	20.6%	229 人	1,114 人																																
R2/5/1	20.8%	229 人	1,103 人																																
R3/5/1	21.9%	244 人	1,116 人																																

点検・評価項目	評価基準	点検・評価結果																																	
		判断理由等	評価レベル																																
項目4 外国人教員の比率	○教員組織の活動をより活性化するための適切な措置として、外国人教員の確保がなされているか。(大学全体に占める外国人教員の比率は向上されているか。)	<p>【収集データの分析】</p> <p>本務教員に占める外国人教員比率の推移(R3/5/1、R2/5/1、R1/5/1 時点)を分析する。</p> <p>本務教員に占める外国人教員比率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>時点</th> <th>外国人教員比率</th> <th>外国人教員数</th> <th>教員数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1/5/1</td> <td>4.6%</td> <td>60 人</td> <td>1,310 人</td> </tr> <tr> <td>R2/5/1</td> <td>5.3%</td> <td>69 人</td> <td>1,314 人</td> </tr> <tr> <td>R3/5/1</td> <td>5.9%</td> <td>78 人</td> <td>1,333 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>本務教員に占める外国人教員比率はR1/5/1 時点～R3/5/1 時点の3年間で1.3 ポイント上昇している。</p> <p>特任教員を除いた本務教員に占める外国人教員比率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>時点</th> <th>外国人教員比率</th> <th>外国人教員数</th> <th>教員数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1/5/1</td> <td>3.2%</td> <td>36 人</td> <td>1,114 人</td> </tr> <tr> <td>R2/5/1</td> <td>3.2%</td> <td>35 人</td> <td>1,103 人</td> </tr> <tr> <td>R3/5/1</td> <td>3.3%</td> <td>37 人</td> <td>1,116 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>特任教員を除いた本務教員に占める外国人教員比率は R1/5/1 時点～R3/5/1 時点の3年間で0.1 ポイント上昇している。</p> <p>以上から、教員組織の活動をより活性化するための適切な措置として、概ね外国人教員の確保がなされていると評価する。</p> <p>【優れた点】</p> <p style="text-align: center;">—</p> <p>【改善を要する点】</p> <p style="text-align: center;">—</p> <p>【検討を要する点】(評価レベルには影響しない)</p> <p style="text-align: center;">—</p>	時点	外国人教員比率	外国人教員数	教員数	R1/5/1	4.6%	60 人	1,310 人	R2/5/1	5.3%	69 人	1,314 人	R3/5/1	5.9%	78 人	1,333 人	時点	外国人教員比率	外国人教員数	教員数	R1/5/1	3.2%	36 人	1,114 人	R2/5/1	3.2%	35 人	1,103 人	R3/5/1	3.3%	37 人	1,116 人	B
時点	外国人教員比率	外国人教員数	教員数																																
R1/5/1	4.6%	60 人	1,310 人																																
R2/5/1	5.3%	69 人	1,314 人																																
R3/5/1	5.9%	78 人	1,333 人																																
時点	外国人教員比率	外国人教員数	教員数																																
R1/5/1	3.2%	36 人	1,114 人																																
R2/5/1	3.2%	35 人	1,103 人																																
R3/5/1	3.3%	37 人	1,116 人																																

点検・評価項目	評価基準	点検・評価結果																																											
		判断理由等	評価レベル																																										
項目5 入試状況 (志願倍率、定員超過率等)および 収容定員に対する充足 状況	○学部、大学院の志願倍率は良好か。	<p>【収集データの分析】</p> <p>入試志願倍率の推移(H29年度～R3年度)を分析する。</p> <p>入試志願倍率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>学部</th> <th>大学院</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>5.9倍</td> <td>1.5倍</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>5.4倍</td> <td>1.5倍</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>5.0倍</td> <td>1.5倍</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>4.8倍</td> <td>1.4倍</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>5.3倍</td> <td>1.4倍</td> </tr> </tbody> </table> <p>学部の入試志願倍率は極めて高い倍率を維持しており、大学院の入試志願倍率も1倍以上を維持しているが、以下の研究科等はH29年度～R3年度の平均入試志願倍率が1倍を下回っている。</p> <p><u>融合理工学府数学情報科学専攻(博士後期課程)</u></p> <p>平均入試志願倍率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.3倍</td> <td>0.7倍</td> <td>1.1倍</td> <td>1.2倍</td> <td>0.2倍</td> <td>0.9倍</td> </tr> </tbody> </table> <p><u>融合理工学府地球環境科学専攻(博士後期課程)</u></p> <p>平均入試志願倍率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.9倍</td> <td>0.9倍</td> <td>0.9倍</td> <td>0.9倍</td> <td>1.3倍</td> <td>0.9倍</td> </tr> </tbody> </table> <p>以上から、学部の志願倍率は極めて良好であり、大学院の志願倍率も概ね良好であるが、一部の研究科等については改善を要すると評価する。</p> <p>【優れた点】</p> <p>学部の志願倍率は極めて高い水準を維持している。</p> <p>【改善を要する点】</p> <p>一部の研究科等の志願倍率が1倍を下回っている。</p> <p>【検討を要する点】(評価レベルには影響しない)</p> <p>—</p>	年度	学部	大学院	H29	5.9倍	1.5倍	H30	5.4倍	1.5倍	R1	5.0倍	1.5倍	R2	4.8倍	1.4倍	R3	5.3倍	1.4倍	H29	H30	R1	R2	R3	平均	1.3倍	0.7倍	1.1倍	1.2倍	0.2倍	0.9倍	H29	H30	R1	R2	R3	平均	0.9倍	0.9倍	0.9倍	0.9倍	1.3倍	0.9倍	B
	年度	学部	大学院																																										
H29	5.9倍	1.5倍																																											
H30	5.4倍	1.5倍																																											
R1	5.0倍	1.5倍																																											
R2	4.8倍	1.4倍																																											
R3	5.3倍	1.4倍																																											
H29	H30	R1	R2	R3	平均																																								
1.3倍	0.7倍	1.1倍	1.2倍	0.2倍	0.9倍																																								
H29	H30	R1	R2	R3	平均																																								
0.9倍	0.9倍	0.9倍	0.9倍	1.3倍	0.9倍																																								
○入学者数が、入学定員を大幅に超える、または大幅に下回る状況になっていないか。	<p>【視点】入学定員超過率(学部)</p>	<p>【収集データの分析】</p> <p>学部の入学定員超過率(R3年度)を分析する。</p> <p>学部(大規模(入学定員：300人超))</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学部</th> <th>入学者数</th> <th>入学定員</th> <th>入学定員超過率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>法政経</td> <td>370人</td> <td>370人</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>教育</td> <td>391人</td> <td>390人</td> <td>100.3%</td> </tr> </tbody> </table>	学部	入学者数	入学定員	入学定員超過率	法政経	370人	370人	100.0%	教育	391人	390人	100.3%	C																														
学部	入学者数	入学定員	入学定員超過率																																										
法政経	370人	370人	100.0%																																										
教育	391人	390人	100.3%																																										

<p>入学定員の規模により超過率を設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模(入学定員：300人超) 27年度：110%以上、 28年度：109%以上、 29年度：107%以上、 30年度～：105%以上 ・中規模(入学定員：100人超 300人以下) 27年度～：110%以上 ・小規模(入学定員：100人以下) 27年度：120%以上、 28年度：119%以上、 29年度：117%以上、 30年度：115%以上、 R1年度：115%以上、 R2年度～：110%以上 <p>※H27.7.31 付け文部科学省高等教育局長通知「平成28年度以降の国立大学の学部における定員超過の抑制について」による。ただし文部科学省公募事業の申請要件を考慮し、R2年度以降は小規模学部の超過率を110%以上と設定する。</p> <p>(大学院)</p> <p>大学改革支援・学位授与機構による大学機関別認証評価の視点により超過率を設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過去5年平均が130%以上、70%未満 <p>※大学評価・学位授与機構による大学機関別認証評価の視点による。</p> <p>(学生募集を行う組織単</p>	<table border="1"> <tr> <td>工</td> <td>622人</td> <td>620人</td> <td>100.3%</td> </tr> </table>	工	622人	620人	100.3%																													
	工	622人	620人	100.3%																														
		<p>学部 (中規模(入学定員：100人超 300人以下))</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学部</th> <th>入学者数</th> <th>入学定員</th> <th>入学定員超過率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>文</td> <td>171人</td> <td>170人</td> <td>100.6%</td> </tr> <tr> <td>理</td> <td>199人</td> <td>200人</td> <td>99.5%</td> </tr> <tr> <td>園芸</td> <td>198人</td> <td>190人</td> <td>104.2%</td> </tr> <tr> <td>医</td> <td>118人</td> <td>117人</td> <td>100.9%</td> </tr> </tbody> </table>	学部	入学者数	入学定員	入学定員超過率	文	171人	170人	100.6%	理	199人	200人	99.5%	園芸	198人	190人	104.2%	医	118人	117人	100.9%												
	学部	入学者数	入学定員	入学定員超過率																														
	文	171人	170人	100.6%																														
	理	199人	200人	99.5%																														
	園芸	198人	190人	104.2%																														
	医	118人	117人	100.9%																														
		<p>学部 (小規模(入学定員：100人以下))</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学部</th> <th>入学者数</th> <th>入学定員</th> <th>入学定員超過率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国際教養</td> <td>91人</td> <td>90人</td> <td>101.1%</td> </tr> <tr> <td>薬</td> <td>95人</td> <td>90人</td> <td>105.6%</td> </tr> <tr> <td>看護</td> <td>82人</td> <td>80人</td> <td>102.5%</td> </tr> </tbody> </table>	学部	入学者数	入学定員	入学定員超過率	国際教養	91人	90人	101.1%	薬	95人	90人	105.6%	看護	82人	80人	102.5%																
	学部	入学者数	入学定員	入学定員超過率																														
	国際教養	91人	90人	101.1%																														
	薬	95人	90人	105.6%																														
	看護	82人	80人	102.5%																														
		<p>大学院の平均入学定員超過率(H29年度～R3年度)を分析する。</p> <p>大学院：修士課程・博士前期課程・専門職学位課程</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>専攻</th> <th>平均入学定員超過率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人文公共学府人文科学専攻</td> <td>90.3%</td> </tr> <tr> <td>人文公共学府公共社会科学専攻</td> <td>98.0%</td> </tr> <tr> <td>専門法務研究科法務専攻</td> <td>52.0%</td> </tr> <tr> <td>教育学研究科学校教育学専攻</td> <td>107.5%</td> </tr> <tr> <td>教育学研究科高度教職実践専攻</td> <td>96.0%</td> </tr> <tr> <td>融合理工学府数学情報科学専攻</td> <td>88.4%</td> </tr> <tr> <td>融合理工学府地球環境科学専攻</td> <td>98.5%</td> </tr> <tr> <td>融合理工学府先進理化学専攻</td> <td>104.9%</td> </tr> <tr> <td>融合理工学府創成工学専攻</td> <td>107.0%</td> </tr> <tr> <td>融合理工学府基幹工学専攻</td> <td>106.3%</td> </tr> <tr> <td>園芸学研究科環境園芸学専攻</td> <td>119.2%</td> </tr> <tr> <td>医学薬学府医科学専攻</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>医学薬学府総合薬品科学専攻</td> <td>108.4%</td> </tr> <tr> <td>看護学研究科看護学専攻</td> <td>89.8%</td> </tr> <tr> <td>総合国際学位プログラム</td> <td>90.0%</td> </tr> </tbody> </table>	専攻	平均入学定員超過率	人文公共学府人文科学専攻	90.3%	人文公共学府公共社会科学専攻	98.0%	専門法務研究科法務専攻	52.0%	教育学研究科学校教育学専攻	107.5%	教育学研究科高度教職実践専攻	96.0%	融合理工学府数学情報科学専攻	88.4%	融合理工学府地球環境科学専攻	98.5%	融合理工学府先進理化学専攻	104.9%	融合理工学府創成工学専攻	107.0%	融合理工学府基幹工学専攻	106.3%	園芸学研究科環境園芸学専攻	119.2%	医学薬学府医科学専攻	100.0%	医学薬学府総合薬品科学専攻	108.4%	看護学研究科看護学専攻	89.8%	総合国際学位プログラム	90.0%
	専攻	平均入学定員超過率																																
人文公共学府人文科学専攻	90.3%																																	
人文公共学府公共社会科学専攻	98.0%																																	
専門法務研究科法務専攻	52.0%																																	
教育学研究科学校教育学専攻	107.5%																																	
教育学研究科高度教職実践専攻	96.0%																																	
融合理工学府数学情報科学専攻	88.4%																																	
融合理工学府地球環境科学専攻	98.5%																																	
融合理工学府先進理化学専攻	104.9%																																	
融合理工学府創成工学専攻	107.0%																																	
融合理工学府基幹工学専攻	106.3%																																	
園芸学研究科環境園芸学専攻	119.2%																																	
医学薬学府医科学専攻	100.0%																																	
医学薬学府総合薬品科学専攻	108.4%																																	
看護学研究科看護学専攻	89.8%																																	
総合国際学位プログラム	90.0%																																	
	<p>大学院：博士後期課程・4年博士課程・後期3年博士課程</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>専攻</th> <th>平均入学定員超過率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人文公共学府人文公共学専攻</td> <td>96.0%</td> </tr> <tr> <td>融合理工学府数学情報科学専攻</td> <td>84.4%</td> </tr> <tr> <td>融合理工学府地球環境科学専攻</td> <td>81.3%</td> </tr> <tr> <td>融合理工学府先進理化学専攻</td> <td>87.6%</td> </tr> </tbody> </table>	専攻	平均入学定員超過率	人文公共学府人文公共学専攻	96.0%	融合理工学府数学情報科学専攻	84.4%	融合理工学府地球環境科学専攻	81.3%	融合理工学府先進理化学専攻	87.6%																							
専攻	平均入学定員超過率																																	
人文公共学府人文公共学専攻	96.0%																																	
融合理工学府数学情報科学専攻	84.4%																																	
融合理工学府地球環境科学専攻	81.3%																																	
融合理工学府先進理化学専攻	87.6%																																	

位ごとの過去5年間の 入学定員)	融合理工学府創成工学専攻	118.9%																																				
	融合理工学府基幹工学専攻	136.5%																																				
	園芸学研究科環境園芸学専攻	136.7%																																				
	医学薬学府先端医学薬学専攻	111.5%																																				
	医学薬学府先進予防医学共同専攻	110.0%																																				
	医学薬学府先端創薬科学専攻	106.7%																																				
	看護学研究科看護学専攻	106.3%																																				
	<p>学部の入学定員超過率は「平成28年度以降の国立大学の学部における定員超過の抑制について」等に定められた基準を上回っていないが、以下の研究科等の平均入学定員超過率は「大学機関別認証評価自己評価実施要領」に定められた基準を外れている。</p> <p><u>専門法務研究科法務専攻(専門職学位課程)</u></p> <p>平均入学定員超過率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>40.0%</td> <td>52.5%</td> <td>45.0%</td> <td>57.5%</td> <td>65.0%</td> <td>52.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p><u>融合理工学府基幹工学専攻(博士後期課程)</u></p> <p>平均入学定員超過率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>158.8%</td> <td>111.8%</td> <td>141.2%</td> <td>94.1%</td> <td>176.5%</td> <td>136.5%</td> </tr> </tbody> </table> <p><u>園芸学研究科環境園芸学専攻(博士後期課程)</u></p> <p>平均入学定員超過率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>150.0%</td> <td>172.2%</td> <td>122.2%</td> <td>138.9%</td> <td>100.0%</td> <td>136.7%</td> </tr> </tbody> </table> <p>以上から、学部の入学者数は入学定員を大幅に超える状況になっておらず、大学院の入学者数も概ね入学定員を大幅に超える、または大幅に下回る状況になっていないが、一部の研究科等については改善を要すると評価する。</p>		H29	H30	R1	R2	R3	平均	40.0%	52.5%	45.0%	57.5%	65.0%	52.0%	H29	H30	R1	R2	R3	平均	158.8%	111.8%	141.2%	94.1%	176.5%	136.5%	H29	H30	R1	R2	R3	平均	150.0%	172.2%	122.2%	138.9%	100.0%	136.7%
	H29	H30	R1	R2	R3	平均																																
	40.0%	52.5%	45.0%	57.5%	65.0%	52.0%																																
H29	H30	R1	R2	R3	平均																																	
158.8%	111.8%	141.2%	94.1%	176.5%	136.5%																																	
H29	H30	R1	R2	R3	平均																																	
150.0%	172.2%	122.2%	138.9%	100.0%	136.7%																																	
【優れた点】		—																																				
【改善を要する点】		一部の研究科等の平均入学定員超過率が「大学機関別認証評価自己評価実施要領」に定められた基準を外れている。																																				
【検討を要する点】(評価レベルには影響しない)		—																																				
○収容定員に対して未 充足・超過となってい ないか。 【視点】	【収集データの分析】 収容定員充足率(R3/11/1時点)を分析する。 学部	C																																				

定員充足率 90%未満
定員超過率 110%以上
※「第3期中期目標期間
の業務実績評価に係る
実施要領」等による。

学科	収容者数	収容定員	収容定員充足率
国際教養学部国際教養学科	411人	360人	114.2%
文学部人文学科	752人	700人	107.4%
法政経学部法政経学科	1,563人	1,480人	105.6%
教育学部学校教員養成課程	1,179人	1,170人	100.8%
理学部数学・情報数理学科	184人	176人	104.5%
理学部物理学科	172人	156人	110.3%
理学部化学科	179人	156人	114.7%
理学部生物学科	175人	156人	112.2%
理学部地球化学科	162人	156人	103.8%
工学部総合工学科	2,710人	2,600人	104.2%
園芸学部園芸学科	276人	256人	107.8%
園芸学部応用生命化学科	129人	124人	104.0%
園芸学部緑地環境学科	285人	264人	108.0%
園芸学部食料資源経済学科	127人	116人	109.5%
医学部医学科	716人	712人	100.6%
薬学部薬学科・薬科学科	447人	430人	104.0%
看護学部看護学科	331人	340人	97.4%

大学院：修士課程・博士前期課程・専門職学位課程

専攻	収容者数	収容定員	収容定員充足率
人文公共学府人文科学専攻	63人	76人	82.9%
人文公共学府公共社会科学専攻	18人	20人	90.0%
専門法務研究科法務専攻	62人	120人	51.7%
教育学研究科学校教育学専攻	141人	118人	119.5%
教育学研究科高度教職実践専攻	38人	40人	95.0%
融合理工学府数学情報科学専攻	142人	148人	95.9%
融合理工学府地球環境科学専攻	149人	162人	92.0%
融合理工学府先進理化学専攻	415人	414人	100.2%
融合理工学府創成工学専攻	254人	234人	108.5%
融合理工学府基幹工学専攻	314人	300人	104.7%
園芸学研究科環境園芸学専攻	241人	210人	114.8%
医学薬学府医科学専攻	53人	54人	98.1%
医学薬学府総合薬品科学専攻	98人	100人	98.0%
看護学研究科看護学専攻	59人	65人	90.8%
総合国際学位プログラム	9人	10人	90.0%

大学院：博士後期課程・4年博士課程・後期3年博士課程

専攻	収容者数	収容	収容定員
----	------	----	------

		定員	充足率
人文公共学府人文公共学専攻	64人	45人	142.2%
融合理工学府数学情報科学専攻	28人	27人	103.7%
融合理工学府地球環境科学専攻	41人	45人	91.1%
融合理工学府先進理化学専攻	76人	87人	87.4%
融合理工学府創成工学専攻	84人	54人	155.6%
融合理工学府基幹工学専攻	83人	51人	162.7%
園芸学研究科環境園芸学専攻	90人	54人	166.7%
医学薬学府先端医学薬学専攻	485人	432人	112.3%
医学薬学府先進予防医学共同専攻	39人	40人	97.5%
医学薬学府先端創薬科学専攻	55人	45人	122.2%
看護学研究科看護学専攻	65人	39人	166.7%

学部の収容定員充足率は国立大学法人運営費交付金の国庫返納に係る基準を下回っていないが、以下の研究科等の収容定員充足率は上記基準を下回っている。

人文公共学府人文科学専攻(博士前期課程)

収容定員充足率

H29	H30	R1	R2	R3	平均
97.4%	100.0%	107.9%	104.2%	82.9%	98.5%

専門法務研究科法務専攻(専門職学位課程)

収容定員充足率

H29	H30	R1	R2	R3	平均
46.7%	45.8%	40.0%	46.7%	51.7%	46.2%

融合理工学府先進理化学専攻(博士後期課程)

収容定員充足率

H29	H30	R1	R2	R3	平均
75.9%	81.0%	75.9%	87.4%	87.4%	81.5%

収容定員超過率(R3/5/1時点)を分析する。

学部

学部	超過率算定対象の 収容者数	収容定員	収容定員 超過率
国際教養学部	372人	360人	103.3%
文学部	707人	700人	101.0%
法政経学部	1,467人	1,480人	99.1%
教育学部	1,575人	1,575人	100.0%

理学部	810人	800人	101.3%
工学部	2,604人	2,600人	100.2%
園芸学部	781人	760人	102.8%
医学部	710人	712人	99.7%
薬学部	442人	430人	102.8%
看護学部	318人	340人	93.5%

大学院

研究科等	超過率算定対象の 収容者数	収容定員	収容定員 超過率
人文公共学府	103人	131人	78.6%
専門法務研究科	53人	120人	44.2%
教育学研究科	103人	158人	65.2%
融合理工学府	1,445人	1,522人	94.9%
園芸学研究科	299人	264人	113.3%
医学薬学府	723人	671人	107.7%
看護学研究科	121人	136人	89.0%
総合国際学位プログラム	9人	10人	90.0%

学部の収容定員超過率は「第3期中期目標期間の業務実績評価に係る実施要領」に定める基準を上回っていないが、以下の研究科等の収容定員超過率は上記基準を上回っている。

園芸学研究科

収容定員超過率

H29	H30	R1	R2	R3	平均
89.0%	109.1%	106.8%	105.3%	113.3%	104.7%

以上から、学部は収容定員に対して未充足・超過となっておらず、大学院も概ね収容定員に対して未充足・超過となっていないが、一部の研究科等については改善を要すると評価する。

【優れた点】

—

【改善を要する点】

一部の研究科等の収容定員充足率が国立大学法人運営費交付金の国庫返納に係る基準を下回っている。

一部の研究科等の収容定員超過率が「第3期中期目標期間の業務実績評価に係る実施要領」に定める基準を上回っている

【検討を要する点】(評価レベルには影響しない)

—

点検・評価項目	評価基準	点検・評価結果																																						
		判断理由等		評価レベル																																				
項目 6 単位修得状況および学生の成績分布	○単位修得状況は良好か。	<p>【収集データの分析】</p> <p>単位修得率の推移(H28年度～R2年度)を分析する。</p> <p>単位修得率(全学)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>88.4%</td> <td>88.4%</td> <td>89.1%</td> <td>89.9%</td> <td>90.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>単位修得率(学部)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>87.9%</td> <td>87.9%</td> <td>88.7%</td> <td>89.6%</td> <td>90.2%</td> </tr> </tbody> </table> <p>単位修得率(大学院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>93.9%</td> <td>93.1%</td> <td>93.4%</td> <td>93.4%</td> <td>91.5%</td> </tr> </tbody> </table> <p>全学の単位修得率は5年間で1.9ポイント、学部の単位修得率は2.3ポイント上昇しており、大学院の単位修得率は2.4ポイント低下しているものの全学および学部と比較して高い水準を保っている。</p> <p>以上から、単位修得状況は概ね良好であると評価する。</p> <p>【優れた点】</p> <p style="text-align: center;">—</p> <p>【改善を要する点】</p> <p style="text-align: center;">—</p> <p>【検討を要する点】(評価レベルには影響しない)</p> <p style="text-align: center;">—</p>			H28	H29	H30	R1	R2	88.4%	88.4%	89.1%	89.9%	90.3%	H28	H29	H30	R1	R2	87.9%	87.9%	88.7%	89.6%	90.2%	H28	H29	H30	R1	R2	93.9%	93.1%	93.4%	93.4%	91.5%	B					
	H28	H29	H30	R1	R2																																			
88.4%	88.4%	89.1%	89.9%	90.3%																																				
H28	H29	H30	R1	R2																																				
87.9%	87.9%	88.7%	89.6%	90.2%																																				
H28	H29	H30	R1	R2																																				
93.9%	93.1%	93.4%	93.4%	91.5%																																				
○学生の成績分布の結果から、教育の成果が確認できるか。	<p>【収集データの分析】</p> <p>成績分布の推移(H28年度～R2年度)を分析する。</p> <p>全学</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>秀</th> <th>優</th> <th>良</th> <th>可</th> <th>不可</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>19.7%</td> <td>35.2%</td> <td>21.4%</td> <td>12.2%</td> <td>11.6%</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>19.4%</td> <td>35.3%</td> <td>21.9%</td> <td>11.8%</td> <td>11.6%</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>19.2%</td> <td>35.6%</td> <td>22.6%</td> <td>11.7%</td> <td>10.9%</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>19.1%</td> <td>34.9%</td> <td>24.0%</td> <td>11.9%</td> <td>10.1%</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>20.8%</td> <td>37.8%</td> <td>23.0%</td> <td>8.7%</td> <td>9.7%</td> </tr> </tbody> </table> <p>全学の成績分布における「不可」の評価の比率は5年間で1.9ポイント低下しており、「秀」および「優」の評価の比率はそれぞれ1.1ポイント、2.6ポイント上昇している。</p>			年度	秀	優	良	可	不可	H28	19.7%	35.2%	21.4%	12.2%	11.6%	H29	19.4%	35.3%	21.9%	11.8%	11.6%	H30	19.2%	35.6%	22.6%	11.7%	10.9%	R1	19.1%	34.9%	24.0%	11.9%	10.1%	R2	20.8%	37.8%	23.0%	8.7%	9.7%	B
年度	秀	優	良	可	不可																																			
H28	19.7%	35.2%	21.4%	12.2%	11.6%																																			
H29	19.4%	35.3%	21.9%	11.8%	11.6%																																			
H30	19.2%	35.6%	22.6%	11.7%	10.9%																																			
R1	19.1%	34.9%	24.0%	11.9%	10.1%																																			
R2	20.8%	37.8%	23.0%	8.7%	9.7%																																			

学部

年度	秀	優	良	可	不可
H28	17.8%	34.7%	22.4%	13.0%	12.1%
H29	17.4%	34.8%	23.1%	12.6%	12.1%
H30	17.4%	35.0%	23.8%	12.5%	11.3%
R1	17.1%	34.5%	25.3%	12.7%	10.4%
R2	19.3%	37.8%	24.0%	9.1%	9.8%

学部の成績分布における「不可」の評価の比率は5年間で2.3ポイント低下しており、「秀」および「優」の評価の比率はそれぞれ1.5ポイント、3.1ポイント上昇している。

大学院

年度	秀	優	良	可	不可
H28	39.8%	39.7%	10.7%	3.8%	6.1%
H29	39.7%	40.5%	9.9%	3.1%	6.9%
H30	37.8%	41.9%	10.3%	3.4%	6.6%
R1	40.5%	39.3%	10.0%	3.6%	6.6%
R2	36.5%	38.5%	12.5%	4.0%	8.5%

大学院の成績分布においては、「不可」の評価の比率は5年間で2.4ポイント上昇しているものの、全学および学部と比較して低い水準を保っている。また、「秀」および「優」の評価の比率はそれぞれ3.3ポイント、1.2ポイント低下しているものの、全学および学部と比較して高い水準に保っている。

以上から、学生の成績分布の結果から概ね教育の成果が確認できると評価する。

【優れた点】

—

【改善を要する点】

—

【検討を要する点】(評価レベルには影響しない)

—

点検・評価項目	評価基準	点検・評価結果																																																																									
		判断理由等		評価レベル																																																																							
項目7 休学者、退学者、留学者、留年者数	○休学者、退学者、留年者数の改善が図られているか。	<p>【収集データの分析】</p> <p>休学率、退学(除籍)率、留年率の推移(H28年度～R2年度)を分析する。</p> <p>休学率(全学)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2.5%</td> <td>2.8%</td> <td>2.6%</td> <td>2.3%</td> <td>2.4%</td> </tr> </tbody> </table> <p>休学率(学部)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.7%</td> <td>2.0%</td> <td>1.9%</td> <td>2.0%</td> <td>1.8%</td> </tr> </tbody> </table> <p>休学率(大学院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5.1%</td> <td>5.3%</td> <td>4.5%</td> <td>3.1%</td> <td>4.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>全学の休学率は5年間で0.1ポイント低下し、学部の休学率は0.1ポイント上昇しているものの、一定の水準を維持している。大学院の休学率は5年間で0.8ポイント低下しており、全学および学部と比較して低下幅が大きい。</p> <p>退学(除籍)率(全学)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.7%</td> <td>1.6%</td> <td>1.5%</td> <td>1.7%</td> <td>1.4%</td> </tr> </tbody> </table> <p>退学(除籍)率(学部)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.1%</td> <td>1.1%</td> <td>0.9%</td> <td>1.1%</td> <td>0.8%</td> </tr> </tbody> </table> <p>退学(除籍)率(大学院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3.7%</td> <td>3.0%</td> <td>3.2%</td> <td>3.5%</td> <td>3.4%</td> </tr> </tbody> </table> <p>全学、学部および大学院の退学(除籍)率は5年間でそれぞれ0.3ポイント低下している。</p> <p>留年率(全学)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5.6%</td> <td>5.4%</td> <td>4.5%</td> <td>4.6%</td> <td>5.9%</td> </tr> </tbody> </table> <p>留年率(学部)</p>			H28	H29	H30	R1	R2	2.5%	2.8%	2.6%	2.3%	2.4%	H28	H29	H30	R1	R2	1.7%	2.0%	1.9%	2.0%	1.8%	H28	H29	H30	R1	R2	5.1%	5.3%	4.5%	3.1%	4.3%	H28	H29	H30	R1	R2	1.7%	1.6%	1.5%	1.7%	1.4%	H28	H29	H30	R1	R2	1.1%	1.1%	0.9%	1.1%	0.8%	H28	H29	H30	R1	R2	3.7%	3.0%	3.2%	3.5%	3.4%	H28	H29	H30	R1	R2	5.6%	5.4%	4.5%	4.6%	5.9%	B
H28	H29	H30	R1	R2																																																																							
2.5%	2.8%	2.6%	2.3%	2.4%																																																																							
H28	H29	H30	R1	R2																																																																							
1.7%	2.0%	1.9%	2.0%	1.8%																																																																							
H28	H29	H30	R1	R2																																																																							
5.1%	5.3%	4.5%	3.1%	4.3%																																																																							
H28	H29	H30	R1	R2																																																																							
1.7%	1.6%	1.5%	1.7%	1.4%																																																																							
H28	H29	H30	R1	R2																																																																							
1.1%	1.1%	0.9%	1.1%	0.8%																																																																							
H28	H29	H30	R1	R2																																																																							
3.7%	3.0%	3.2%	3.5%	3.4%																																																																							
H28	H29	H30	R1	R2																																																																							
5.6%	5.4%	4.5%	4.6%	5.9%																																																																							

H28	H29	H30	R1	R2
4.3%	4.4%	3.9%	3.7%	4.6%

留年率(大学院)

H28	H29	H30	R1	R2
9.8%	8.2%	6.4%	7.3%	10.0%

全学、学部および大学院の留年率は5年間でそれぞれ0.3ポイント、0.3ポイント、0.2ポイント上昇している。

なお、H28年度～R1年度の4年間ではそれぞれ1.0ポイント、0.6ポイント、2.5ポイント低下しているが、R1年度～R2年度の1年間でそれぞれ1.3ポイント、0.9ポイント、2.7ポイント上昇している。

学部・研究科等单位でみると「工学部」、「医学部」、「専門法務研究科」、「融合理工学府」「総合国際学位プログラム」を除く全ての学部・研究科等で留年率が上昇している。

学部・研究科	R1年度 留年率	R2年度 留年率
国際教養学部	2.9%	5.2%
文学部	3.1%	5.4%
法政経学部	4.4%	6.2%
教育学部	2.4%	3.6%
理学部	5.5%	7.1%
工学部	5.0%	4.8%
園芸学部	3.8%	5.1%
医学部	1.9%	1.9%
薬学部	0.5%	0.7%
看護学部	1.2%	1.5%
人文公共学府	22.7%	36.9%
専門法務研究科	12.5%	5.4%
教育学研究科	4.0%	21.8%
融合理工学府	7.6%	7.4%
園芸学研究科	4.3%	6.1%
医学薬学府	2.2%	5.8%
看護学研究科	16.8%	19.9%
総合国際学位プログラム	—	0.0%

以上から、休学者数、退学者数の改善は概ね図られているが、留年者数の増加について検討を要すると評価する。

【優れた点】

—

		【改善を要する点】 —	
		【検討を要する点】（評価レベルには影響しない） R1 年度から R2 年度にかけて、留年率が上昇している。	

点検・評価項目	評価基準	点検・評価結果																																																																									
		判断理由等	評価レベル																																																																								
項目8 資格取得状況	○資格取得状況は良好か。	<p>【収集データの分析】</p> <p>医師国家試験、薬剤師国家試験、看護師国家試験、新司法試験の合格率の推移(H28年度～R2年度)を分析する。</p> <p>医師国家試験</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>合格率</th> <th>合格率(全国平均)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>94.6%</td> <td>88.7%</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>93.5%</td> <td>90.1%</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>92.8%</td> <td>89.0%</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>96.3%</td> <td>92.1%</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>94.8%</td> <td>91.4%</td> </tr> </tbody> </table> <p>薬剤師国家試験</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>合格率</th> <th>合格率(全国平均)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>95.5%</td> <td>71.6%</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>95.1%</td> <td>70.6%</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>92.5%</td> <td>70.9%</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>92.5%</td> <td>69.6%</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>84.6%</td> <td>68.7%</td> </tr> </tbody> </table> <p>看護師国家試験</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>合格率</th> <th>合格率(全国平均)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>98.8%</td> <td>88.5%</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>98.8%</td> <td>91.0%</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>100.0%</td> <td>89.3%</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>98.8%</td> <td>89.2%</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>100.0%</td> <td>90.4%</td> </tr> </tbody> </table> <p>新司法試験</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>合格率</th> <th>合格率(全国平均)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>19.8%</td> <td>23.0%</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>13.4%</td> <td>25.9%</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>15.2%</td> <td>29.1%</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>19.7%</td> <td>33.6%</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>18.8%</td> <td>39.2%</td> </tr> </tbody> </table> <p>医師国家試験、薬剤師国家試験および看護師国家試験の合格率は各年度とも全国平均を大きく上回っている一方、新司法試験の合格率は各年度とも全</p>	年度	合格率	合格率(全国平均)	H28	94.6%	88.7%	H29	93.5%	90.1%	H30	92.8%	89.0%	R1	96.3%	92.1%	R2	94.8%	91.4%	年度	合格率	合格率(全国平均)	H28	95.5%	71.6%	H29	95.1%	70.6%	H30	92.5%	70.9%	R1	92.5%	69.6%	R2	84.6%	68.7%	年度	合格率	合格率(全国平均)	H28	98.8%	88.5%	H29	98.8%	91.0%	H30	100.0%	89.3%	R1	98.8%	89.2%	R2	100.0%	90.4%	年度	合格率	合格率(全国平均)	H28	19.8%	23.0%	H29	13.4%	25.9%	H30	15.2%	29.1%	R1	19.7%	33.6%	R2	18.8%	39.2%	B
年度	合格率	合格率(全国平均)																																																																									
H28	94.6%	88.7%																																																																									
H29	93.5%	90.1%																																																																									
H30	92.8%	89.0%																																																																									
R1	96.3%	92.1%																																																																									
R2	94.8%	91.4%																																																																									
年度	合格率	合格率(全国平均)																																																																									
H28	95.5%	71.6%																																																																									
H29	95.1%	70.6%																																																																									
H30	92.5%	70.9%																																																																									
R1	92.5%	69.6%																																																																									
R2	84.6%	68.7%																																																																									
年度	合格率	合格率(全国平均)																																																																									
H28	98.8%	88.5%																																																																									
H29	98.8%	91.0%																																																																									
H30	100.0%	89.3%																																																																									
R1	98.8%	89.2%																																																																									
R2	100.0%	90.4%																																																																									
年度	合格率	合格率(全国平均)																																																																									
H28	19.8%	23.0%																																																																									
H29	13.4%	25.9%																																																																									
H30	15.2%	29.1%																																																																									
R1	19.7%	33.6%																																																																									
R2	18.8%	39.2%																																																																									

		<p>国平均を下回っている。</p> <p>以上から、医師国家試験、薬剤師国家試験および看護師国家試験の資格取得状況は極めて良好であるが、新司法試験の資格取得状況は改善を要すると評価する。</p>	
		<p>【優れた点】</p> <p>医師国家試験、薬剤師国家試験および看護師国家試験の合格率が各年度とも全国平均を大きく上回っている。</p>	
		<p>【改善を要する点】</p> <p>新司法試験の合格率が各年度とも全国平均を下回っている。</p>	
		<p>【検討を要する点】(評価レベルには影響しない)</p> <p style="text-align: center;">—</p>	

点検・評価項目	評価基準	点検・評価結果																																																																																			
		判断理由等		評価レベル																																																																																	
項目9 卒業・修了者数および就職率	○卒業(修了)率は良好か。	<p>【収集データの分析】</p> <p>「標準修業年限内卒業(修了)率」、「標準修業年限×1.5年内卒業(修了)率」の推移(H28年度～R2年度)を分析する。</p> <p>標準修業年限内卒業(修了)率の平均(全学)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>75.4%</td> <td>74.3%</td> <td>78.5%</td> <td>72.2%</td> <td>81.1%</td> </tr> </tbody> </table> <p>標準修業年限内卒業(修了)率の平均(学部)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90.2%</td> <td>88.0%</td> <td>88.8%</td> <td>87.7%</td> <td>91.6%</td> </tr> </tbody> </table> <p>標準修業年限内卒業(修了)率の平均(大学院(修士))</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>72.6%</td> <td>70.5%</td> <td>80.0%</td> <td>77.0%</td> <td>83.4%</td> </tr> </tbody> </table> <p>標準修業年限内卒業(修了)率の平均(大学院(博士))</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>42.3%</td> <td>46.6%</td> <td>49.6%</td> <td>36.7%</td> <td>58.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>全学、学部、大学院(修士)および大学院(博士)の標準修業年限内卒業(修了)率の平均は5年間でそれぞれ5.7ポイント、1.4ポイント、10.8ポイント、16ポイント上昇している。</p> <p>標準修業年限×1.5年内卒業(修了)率の平均(全学)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>84.4%</td> <td>85.2%</td> <td>87.0%</td> <td>87.1%</td> <td>94.1%</td> </tr> </tbody> </table> <p>標準修業年限×1.5年内卒業(修了)率の平均(学部)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>94.9%</td> <td>95.4%</td> <td>96.4%</td> <td>95.9%</td> <td>97.2%</td> </tr> </tbody> </table> <p>標準修業年限×1.5年内卒業(修了)率の平均(大学院(修士))</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>84.8%</td> <td>79.7%</td> <td>84.3%</td> <td>85.2%</td> <td>96.1%</td> </tr> </tbody> </table> <p>標準修業年限×1.5年内卒業(修了)率の平均(大学院(博士))</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			H28	H29	H30	R1	R2	75.4%	74.3%	78.5%	72.2%	81.1%	H28	H29	H30	R1	R2	90.2%	88.0%	88.8%	87.7%	91.6%	H28	H29	H30	R1	R2	72.6%	70.5%	80.0%	77.0%	83.4%	H28	H29	H30	R1	R2	42.3%	46.6%	49.6%	36.7%	58.3%	H28	H29	H30	R1	R2	84.4%	85.2%	87.0%	87.1%	94.1%	H28	H29	H30	R1	R2	94.9%	95.4%	96.4%	95.9%	97.2%	H28	H29	H30	R1	R2	84.8%	79.7%	84.3%	85.2%	96.1%	H28	H29	H30	R1	R2						B
H28	H29	H30	R1	R2																																																																																	
75.4%	74.3%	78.5%	72.2%	81.1%																																																																																	
H28	H29	H30	R1	R2																																																																																	
90.2%	88.0%	88.8%	87.7%	91.6%																																																																																	
H28	H29	H30	R1	R2																																																																																	
72.6%	70.5%	80.0%	77.0%	83.4%																																																																																	
H28	H29	H30	R1	R2																																																																																	
42.3%	46.6%	49.6%	36.7%	58.3%																																																																																	
H28	H29	H30	R1	R2																																																																																	
84.4%	85.2%	87.0%	87.1%	94.1%																																																																																	
H28	H29	H30	R1	R2																																																																																	
94.9%	95.4%	96.4%	95.9%	97.2%																																																																																	
H28	H29	H30	R1	R2																																																																																	
84.8%	79.7%	84.3%	85.2%	96.1%																																																																																	
H28	H29	H30	R1	R2																																																																																	

		57.6%	68.0%	68.4%	73.0%	85.6%																																												
	<p>全学、学部、大学院(修士)および大学院(博士)の標準修業年限×1.5年内卒業(修了)率の平均は5年間でそれぞれ9.7ポイント、2.3ポイント、11.3ポイント、28ポイント上昇している。</p> <p>以上から、卒業(修了)率は概ね良好であると評価する。</p>																																																	
	【優れた点】	—																																																
	【改善を要する点】	—																																																
	【検討を要する点】(評価レベルには影響しない)	—																																																
○卒業(修了)生の就職率は良好か。	<p>【収集データの分析】</p> <p>「卒業(修了)生の就職率」、「就職希望者の就職率」の推移(H28年度～R2年度)を分析する。</p> <p>卒業(修了)生の就職率(全学)</p> <table border="1"> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> <tr> <td>59.8%</td> <td>61.7%</td> <td>68.6%</td> <td>67.4%</td> <td>65.3%</td> </tr> </table> <p>卒業(修了)生の就職率(学部)</p> <table border="1"> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> <tr> <td>56.8%</td> <td>58.3%</td> <td>60.8%</td> <td>61.1%</td> <td>58.2%</td> </tr> </table> <p>卒業(修了)生の就職率(大学院(修士))</p> <table border="1"> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> <tr> <td>71.5%</td> <td>74.7%</td> <td>85.2%</td> <td>80.2%</td> <td>79.8%</td> </tr> </table> <p>卒業(修了)生の就職率(大学院(博士))</p> <table border="1"> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> <tr> <td>82.8%</td> <td>88.6%</td> <td>84.3%</td> <td>80.0%</td> <td>80.6%</td> </tr> </table> <p>全学、学部および大学院(修士)の卒業(修了)生の就職率は5年間でそれぞれ5.1ポイント、1.4ポイント、8.3ポイント上昇している一方、大学院(博士)の卒業(修了)生の就職率は2.2ポイント低下している。</p> <p>なお、大学院(博士)の課程単位でみると、R2年度においては以下の課程の卒業(修了)生の就職率が大学院(博士)全体の数値を下回っている。</p> <p>卒業(修了)生の就職率(R2年度)</p> <table border="1"> <tr> <th>大学院(博士)課程</th> <th>就職率</th> <th>就職者数</th> <th>卒業(修了)者数</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	H28	H29	H30	R1	R2	59.8%	61.7%	68.6%	67.4%	65.3%	H28	H29	H30	R1	R2	56.8%	58.3%	60.8%	61.1%	58.2%	H28	H29	H30	R1	R2	71.5%	74.7%	85.2%	80.2%	79.8%	H28	H29	H30	R1	R2	82.8%	88.6%	84.3%	80.0%	80.6%	大学院(博士)課程	就職率	就職者数	卒業(修了)者数					B
H28	H29	H30	R1	R2																																														
59.8%	61.7%	68.6%	67.4%	65.3%																																														
H28	H29	H30	R1	R2																																														
56.8%	58.3%	60.8%	61.1%	58.2%																																														
H28	H29	H30	R1	R2																																														
71.5%	74.7%	85.2%	80.2%	79.8%																																														
H28	H29	H30	R1	R2																																														
82.8%	88.6%	84.3%	80.0%	80.6%																																														
大学院(博士)課程	就職率	就職者数	卒業(修了)者数																																															

人文公共学府博士後期課程	0.0%	0	4
園芸学研究科博士後期課程	41.7%	10	24
医学薬学府後期 3 年博士課程	64.7%	11	17

就職希望者の就職率(全学)

H28	H29	H30	R1	R2
92.0%	93.6%	93.8%	95.2%	92.9%

就職希望者の就職率(学部)

H28	H29	H30	R1	R2
93.6%	94.2%	93.4%	95.3%	93.0%

就職希望者の就職率(大学院(修士))

H28	H29	H30	R1	R2
84.0%	87.8%	94.7%	95.5%	92.3%

就職希望者の就職率(大学院(博士))

H28	H29	H30	R1	R2
90.6%	96.7%	92.9%	92.3%	94.8%

全学、大学院(修士)および大学院(博士)の就職希望者の就職率は 5 年間でそれぞれ 0.9 ポイント、8.3 ポイント、4.2 ポイント上昇している一方、学部の就職希望者の就職率は 0.6 ポイント低下している。

なお、学部単位でみると、R2 年度においては以下の課程の就職希望者の就職率が学部全体の数値を下回っている。

就職希望者の就職率(R2 年度)

学部	就職率	就職者数	就職希望者数
文学部	91.7%	132	144
法政経学部	89.9%	304	338
理学部	85.1%	63	74
工学部	87.5%	161	184
園芸学部	91.8%	101	110

以上から、卒業(修了)生の就職率は概ね良好であるが、学部の卒業(修了)生の就職率および大学院(博士)の就職希望者の就職率について検討を要すると評価する。

【優れた点】

—

【改善を要する点】

—

		<p>【検討を要する点】(評価レベルには影響しない)</p> <p>学部の卒業(修了)生の就職率が低下している。</p> <p>大学院(博士)の就職希望者の就職率が低下している。</p>	
--	--	---	--

点検・評価項目	評価基準	点検・評価結果																															
		判断理由等	評価レベル																														
項目10 TA・RAの雇用実績	○TA等の教育・研究補助者の活用が図られているか。	<p>【収集データの分析】</p> <p>教育補助者(TA)、研究補助者(RA)の雇用時間数の推移(H28年度～R2年度)を分析する。</p> <p>教育補助者(TA)の雇用時間数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>56,355</td> <td>55,510</td> <td>55,945</td> <td>52,484</td> <td>48,045</td> </tr> <tr> <td>時間</td> <td>時間</td> <td>時間</td> <td>時間</td> <td>時間</td> </tr> </tbody> </table> <p>教育補助者(TA)の雇用時間数はH28年度～H30年度の3年間でH28年度の99.3%を維持していたが、新型コロナウイルス感染症によるメディア授業化の影響で対面授業が減少し、R1年度及びR2年度に相次いで数値が減少したため、H28年度～R2年度の5年間ではH28年度の85.3%に減少している。</p> <p>研究補助者(RA)の雇用時間数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>25,373</td> <td>29,763</td> <td>36,570</td> <td>35,545</td> <td>58,793</td> </tr> <tr> <td>時間</td> <td>時間</td> <td>時間</td> <td>時間</td> <td>時間</td> </tr> </tbody> </table> <p>研究補助者(RA)の雇用時間数はH28年度～R2年度の5年間でH28年度の231.7%に増加している。</p> <p>以上から、教育補助者(TA)の活用は概ね活用が図られていると評価し、研究補助者(RA)は極めて活用が図られていると評価する。</p> <p>【優れた点】</p> <p>研究補助者(RA)の雇用時間数が大幅に増加している。</p> <p>【改善を要する点】</p> <p>—</p> <p>【検討を要する点】(評価レベルには影響しない)</p> <p>—</p>	H28	H29	H30	R1	R2	56,355	55,510	55,945	52,484	48,045	時間	時間	時間	時間	時間	H28	H29	H30	R1	R2	25,373	29,763	36,570	35,545	58,793	時間	時間	時間	時間	時間	A
H28	H29	H30	R1	R2																													
56,355	55,510	55,945	52,484	48,045																													
時間	時間	時間	時間	時間																													
H28	H29	H30	R1	R2																													
25,373	29,763	36,570	35,545	58,793																													
時間	時間	時間	時間	時間																													
	○大学として、特別RA制度を活用し、学生に対する経済的支援が図られているか。	<p>【収集データの分析】</p> <p>特別RAの雇用時間数の推移(H28年度～R2年度)を分析する。</p> <p>特別RAの雇用時間数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>19,108</td> <td>19,271</td> <td>22,537</td> <td>14,051</td> <td>14,662</td> </tr> <tr> <td>時間</td> <td>時間</td> <td>時間</td> <td>時間</td> <td>時間</td> </tr> </tbody> </table> <p>特別RAの雇用時間数は5年間でH28年度の76.7%に減少している。</p>	H28	H29	H30	R1	R2	19,108	19,271	22,537	14,051	14,662	時間	時間	時間	時間	時間	B															
H28	H29	H30	R1	R2																													
19,108	19,271	22,537	14,051	14,662																													
時間	時間	時間	時間	時間																													

		<p>以上から、特別 RA 制度を活用した学生に対する経済的支援については検討を要すると評価する。</p>	
		<p>【優れた点】</p> <p style="text-align: center;">—</p>	
		<p>【改善を要する点】</p> <p style="text-align: center;">—</p>	
		<p>【検討を要する点】（評価レベルには影響しない）</p> <p>特別 RA の雇用時間数が減少している。</p>	

点検・評価項目	評価基準	点検・評価結果																																																												
		判断理由等		評価レベル																																																										
項目11 科学研究費補助金の申請・内定状況	○科学研究費補助金獲得のため、積極的に申請を行っているか。また、内定件数および内定金額の状況は良好か。	<p>【収集データの分析】</p> <p>科学研究費補助金の新規申請件数・新規内定率・総内定件数・総内定額・総間接経費額の推移(H28年度～R2年度)を分析する。</p> <p>新規申請件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>948件</td> <td>974件</td> <td>968件</td> <td>948件</td> <td>1,004件</td> </tr> </tbody> </table> <p>新規申請件数は、5年間でH28年度の105.9%に増加している。</p> <p>新規内定率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>新規内定率</th> <th>新規内定率(全国平均)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>35.5%</td> <td>26.4%</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>34.7%</td> <td>25.0%</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>29.2%</td> <td>24.9%</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>38.6%</td> <td>28.4%</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>37.5%</td> <td>27.4%</td> </tr> </tbody> </table> <p>新規内定率は、各年度とも全国平均を大きく上回っている。</p> <p>総内定件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>980件</td> <td>982件</td> <td>920件</td> <td>952件</td> <td>1,044件</td> </tr> </tbody> </table> <p>総内定件数は、5年間でH28年度の106.5%に増加している。</p> <p>総内定額</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,849,828 千円</td> <td>1,917,400 千円</td> <td>1,857,622 千円</td> <td>1,968,540 千円</td> <td>1,960,420 千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>総内定額は、5年間でH28年度の106.0%に増加している。</p> <p>総間接経費額</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>539,409 千円</td> <td>559,930 千円</td> <td>541,957 千円</td> <td>582,450 千円</td> <td>573,840 千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>総間接経費額は、5年間でH28年度の106.4%に増加している。</p> <p>以上から、科学研究費補助金獲得のため積極的に申請を行っており、内定件数および内定金額の状況は概ね良好であると評価する。</p> <p>【優れた点】</p> <p style="text-align: center;">—</p>		H28	H29	H30	R1	R2	948件	974件	968件	948件	1,004件	年度	新規内定率	新規内定率(全国平均)	H28	35.5%	26.4%	H29	34.7%	25.0%	H30	29.2%	24.9%	R1	38.6%	28.4%	R2	37.5%	27.4%	H28	H29	H30	R1	R2	980件	982件	920件	952件	1,044件	H28	H29	H30	R1	R2	1,849,828 千円	1,917,400 千円	1,857,622 千円	1,968,540 千円	1,960,420 千円	H28	H29	H30	R1	R2	539,409 千円	559,930 千円	541,957 千円	582,450 千円	573,840 千円	B
H28	H29	H30	R1	R2																																																										
948件	974件	968件	948件	1,004件																																																										
年度	新規内定率	新規内定率(全国平均)																																																												
H28	35.5%	26.4%																																																												
H29	34.7%	25.0%																																																												
H30	29.2%	24.9%																																																												
R1	38.6%	28.4%																																																												
R2	37.5%	27.4%																																																												
H28	H29	H30	R1	R2																																																										
980件	982件	920件	952件	1,044件																																																										
H28	H29	H30	R1	R2																																																										
1,849,828 千円	1,917,400 千円	1,857,622 千円	1,968,540 千円	1,960,420 千円																																																										
H28	H29	H30	R1	R2																																																										
539,409 千円	559,930 千円	541,957 千円	582,450 千円	573,840 千円																																																										

		【改善を要する点】 —	
		【検討を要する点】（評価レベルには影響しない） —	

点検・評価項目	評価基準	点検・評価結果																																																																																								
		判断理由等				評価レベル																																																																																				
項目12 競争的外部資金(科研費を除く)の採択状況	○競争的研究資金の受入状況(件数・金額)は良好か。	<p>【収集データの分析】</p> <p>競争的研究資金の受入件数・受入額・間接経費額の推移(H28年度～R2年度)を分析する。</p> <p>受入件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>受入件数</th> <th>文科省</th> <th>厚労省</th> <th>その他省庁等 (地方自治体含む)</th> <th>民間企業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>57件</td> <td>38件</td> <td>6件</td> <td>12件</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>57件</td> <td>37件</td> <td>5件</td> <td>13件</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>56件</td> <td>35件</td> <td>5件</td> <td>14件</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>56件</td> <td>34件</td> <td>5件</td> <td>14件</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>79件</td> <td>46件</td> <td>7件</td> <td>25件</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>R2※</td> <td>60件</td> <td>40件</td> <td>4件</td> <td>15件</td> <td>1件</td> </tr> </tbody> </table> <p>※新型コロナウイルス感染症への緊急対応のための特殊な補助金を除く</p> <p>受入件数はH28年度～R2年度の5年間でH28年度の138.6%に増加している。なお、新型コロナウイルス感染症への緊急対応のための特殊な補助金を除いた場合、受入件数はH28年度～R2年度の5年間でH28年度の105.3%に増加している。</p> <p>受入額</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>受入額</th> <th>文科省</th> <th>厚労省</th> <th>その他省庁等 (地方自治体含む)</th> <th>民間企業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>1,417,829 千円</td> <td>1,140,904 千円</td> <td>85,118 千円</td> <td>141,574 千円</td> <td>50,233 千円</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>1,441,530 千円</td> <td>1,045,278 千円</td> <td>36,206 千円</td> <td>357,117 千円</td> <td>2,928 千円</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>1,309,714 千円</td> <td>921,621 千円</td> <td>71,990 千円</td> <td>314,556 千円</td> <td>1,547 千円</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>1,090,750 千円</td> <td>642,065 千円</td> <td>62,176 千円</td> <td>384,605 千円</td> <td>1,905 千円</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>7,151,014 千円</td> <td>2,018,226 千円</td> <td>643,979 千円</td> <td>4,487,959 千円</td> <td>850 千円</td> </tr> <tr> <td>R2※</td> <td>2,237,698 千円</td> <td>1,757,971 千円</td> <td>57,229 千円</td> <td>421,648 千円</td> <td>850 千円</td> </tr> </tbody> </table>				年度	受入件数	文科省	厚労省	その他省庁等 (地方自治体含む)	民間企業	H28	57件	38件	6件	12件	1件	H29	57件	37件	5件	13件	2件	H30	56件	35件	5件	14件	2件	R1	56件	34件	5件	14件	3件	R2	79件	46件	7件	25件	1件	R2※	60件	40件	4件	15件	1件	年度	受入額	文科省	厚労省	その他省庁等 (地方自治体含む)	民間企業	H28	1,417,829 千円	1,140,904 千円	85,118 千円	141,574 千円	50,233 千円	H29	1,441,530 千円	1,045,278 千円	36,206 千円	357,117 千円	2,928 千円	H30	1,309,714 千円	921,621 千円	71,990 千円	314,556 千円	1,547 千円	R1	1,090,750 千円	642,065 千円	62,176 千円	384,605 千円	1,905 千円	R2	7,151,014 千円	2,018,226 千円	643,979 千円	4,487,959 千円	850 千円	R2※	2,237,698 千円	1,757,971 千円	57,229 千円	421,648 千円	850 千円	B
年度	受入件数	文科省	厚労省	その他省庁等 (地方自治体含む)	民間企業																																																																																					
H28	57件	38件	6件	12件	1件																																																																																					
H29	57件	37件	5件	13件	2件																																																																																					
H30	56件	35件	5件	14件	2件																																																																																					
R1	56件	34件	5件	14件	3件																																																																																					
R2	79件	46件	7件	25件	1件																																																																																					
R2※	60件	40件	4件	15件	1件																																																																																					
年度	受入額	文科省	厚労省	その他省庁等 (地方自治体含む)	民間企業																																																																																					
H28	1,417,829 千円	1,140,904 千円	85,118 千円	141,574 千円	50,233 千円																																																																																					
H29	1,441,530 千円	1,045,278 千円	36,206 千円	357,117 千円	2,928 千円																																																																																					
H30	1,309,714 千円	921,621 千円	71,990 千円	314,556 千円	1,547 千円																																																																																					
R1	1,090,750 千円	642,065 千円	62,176 千円	384,605 千円	1,905 千円																																																																																					
R2	7,151,014 千円	2,018,226 千円	643,979 千円	4,487,959 千円	850 千円																																																																																					
R2※	2,237,698 千円	1,757,971 千円	57,229 千円	421,648 千円	850 千円																																																																																					

※新型コロナウイルス感染症への緊急対応のための特殊な補助金を除く

受入額は H28 年度～R2 年度の 5 年間で H28 年度の 504.4%に増加している。なお、新型コロナウイルス感染症への緊急対応のための特殊な補助金を除いた場合、受入件数は H28 年度～R2 年度の 5 年間で H28 年度の 157.8%に増加している。

間接経費額

年度	受入額	文科省	厚労省	その他 省庁等 (地方自治体 含む)	民間 企業
H28	690 千円	0 千円	0 千円	690 千円	0 千円
H29	9,144 千円	7,384 千円	0 千円	881 千円	878 千円
H30	7,712 千円	6,453 千円	0 千円	795 千円	464 千円
R1	78,771 千円	77,520 千円	0 千円	680 千円	571 千円
R2	98,389 千円	70,863 千円	0 千円	27,271 千円	255 千円
R2 ※	98,389 千円	70,863 千円	0 千円	27,271 千円	255 千円

※新型コロナウイルス感染症への緊急対応のための特殊な補助金を除く

間接経費額は H28 年度～R2 年度の 5 年間で H28 年度の 14259.3%に増加している。なお、新型コロナウイルス感染症への緊急対応のための特殊な補助金を除いた場合でも同様である。

以上から、競争的研究資金の受入状況(件数・金額)は概ね良好であると評価する。

【優れた点】

—

【改善を要する点】

—

【検討を要する点】(評価レベルには影響しない)

—

点検・評価項目	評価基準	点検・評価結果																																																																																											
		判断理由等	評価レベル																																																																																										
項目13 共同研究・受託研究の実施状況	○共同研究・受託研究の受入状況(件数・金額)は良好か。	<p>【収集データの分析】</p> <p>共同研究、受託研究の受入件数・受入額の推移(H28年度～R2年度)を分析する。</p> <p>共同研究(受入件数)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>受入件数</th> <th>公的機関</th> <th>民間企業</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>434件</td> <td>49件</td> <td>363件</td> <td>22件</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>469件</td> <td>52件</td> <td>396件</td> <td>21件</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>482件</td> <td>42件</td> <td>425件</td> <td>15件</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>487件</td> <td>67件</td> <td>409件</td> <td>11件</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>454件</td> <td>63件</td> <td>367件</td> <td>24件</td> </tr> </tbody> </table> <p>共同研究(受入件数)はH28年度～R2年度の5年間でH28年度の104.6%に増加している。</p> <p>共同研究(受入額)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>受入額</th> <th>公的機関</th> <th>民間企業</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>782,753千円</td> <td>50,177千円</td> <td>693,213千円</td> <td>39,422千円</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>910,977千円</td> <td>104,169千円</td> <td>792,691千円</td> <td>14,116千円</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>807,485千円</td> <td>93,583千円</td> <td>700,396千円</td> <td>13,506千円</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>840,270千円</td> <td>145,888千円</td> <td>683,074千円</td> <td>11,307千円</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>935,650千円</td> <td>115,047千円</td> <td>737,487千円</td> <td>83,116千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>共同研究(受入額)はH28年度～R2年度の5年間でH28年度の119.5%に増加している。</p> <p>受託研究(受入件数)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>受入件数</th> <th>公的機関</th> <th>民間企業</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>715件</td> <td>213件</td> <td>408件</td> <td>94件</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>672件</td> <td>185件</td> <td>411件</td> <td>76件</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>673件</td> <td>198件</td> <td>412件</td> <td>63件</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>455件</td> <td>194件</td> <td>213件</td> <td>48件</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>732件</td> <td>210件</td> <td>84件</td> <td>438件</td> </tr> </tbody> </table> <p>受託研究(受入件数)はH28年度～R2年度の5年間でH28年度の102.4%に増加している。なお、「その他」から受入件数がR2年度に急増しているのは、医学部附属病院分のうち分類不能なものを「その他」に含めたためである。</p>	年度	受入件数	公的機関	民間企業	その他	H28	434件	49件	363件	22件	H29	469件	52件	396件	21件	H30	482件	42件	425件	15件	R1	487件	67件	409件	11件	R2	454件	63件	367件	24件	年度	受入額	公的機関	民間企業	その他	H28	782,753千円	50,177千円	693,213千円	39,422千円	H29	910,977千円	104,169千円	792,691千円	14,116千円	H30	807,485千円	93,583千円	700,396千円	13,506千円	R1	840,270千円	145,888千円	683,074千円	11,307千円	R2	935,650千円	115,047千円	737,487千円	83,116千円	年度	受入件数	公的機関	民間企業	その他	H28	715件	213件	408件	94件	H29	672件	185件	411件	76件	H30	673件	198件	412件	63件	R1	455件	194件	213件	48件	R2	732件	210件	84件	438件	B
年度	受入件数	公的機関	民間企業	その他																																																																																									
H28	434件	49件	363件	22件																																																																																									
H29	469件	52件	396件	21件																																																																																									
H30	482件	42件	425件	15件																																																																																									
R1	487件	67件	409件	11件																																																																																									
R2	454件	63件	367件	24件																																																																																									
年度	受入額	公的機関	民間企業	その他																																																																																									
H28	782,753千円	50,177千円	693,213千円	39,422千円																																																																																									
H29	910,977千円	104,169千円	792,691千円	14,116千円																																																																																									
H30	807,485千円	93,583千円	700,396千円	13,506千円																																																																																									
R1	840,270千円	145,888千円	683,074千円	11,307千円																																																																																									
R2	935,650千円	115,047千円	737,487千円	83,116千円																																																																																									
年度	受入件数	公的機関	民間企業	その他																																																																																									
H28	715件	213件	408件	94件																																																																																									
H29	672件	185件	411件	76件																																																																																									
H30	673件	198件	412件	63件																																																																																									
R1	455件	194件	213件	48件																																																																																									
R2	732件	210件	84件	438件																																																																																									

る。

※参考 受託研究(受入件数(医学部附属病院))

年度	受入件数	公的機関	民間企業	その他
H28	496 件	27 件	387 件	82 件
H29	485 件	33 件	385 件	67 件
H30	481 件	43 件	389 件	49 件
R1	281 件	53 件	189 件	39 件
R2	537 件	47 件	60 件	430 件

受託研究(受入額)

年度	受入額	公的機関	民間企業	その他
H28	2,214,475 千円	1,621,142 千円	447,967 千円	145,367 千円
H29	1,575,298 千円	1,037,556 千円	439,349 千円	98,393 千円
H30	1,403,418 千円	1,000,852 千円	365,426 千円	37,140 千円
R1	1,457,661 千円	903,179 千円	522,027 千円	32,455 千円
R2	2,467,500 千円	1,988,892 千円	296,681 千円	182,018 千円

受託研究(受入額)は H28 年度～R2 年度の 5 年間で H28 年度の 111.4%に増加している。特に「公的機関」からの受入額は 122.7%に増加している。

以上から、共同研究・受託研究の受入件数・受入額は概ね良好であると評価する。

【優れた点】

—

【改善を要する点】

—

【検討を要する点】(評価レベルには影響しない)

—

点検・評価項目	評価基準	点検・評価結果																																																			
		判断理由等	評価レベル																																																		
項目14 寄附金の受入状況	○寄附金の受入状況(件数・金額)は良好か。	<p>【収集データの分析】</p> <p>寄附金の受入件数・受入額、寄附講座・研究部門の設置数・受入額の推移(H28年度～R2年度)を分析する。</p> <p>寄附金(受入件数)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,223件</td> <td>1,232件</td> <td>1,406件</td> <td>1,396件</td> <td>2,464件</td> </tr> </tbody> </table> <p>寄附金(受入件数)はH28年度～R2年度の5年間でH28年度の201.5%に増加しており、特に医学部附属病院における受入件数は605.6%に増加している。</p> <p>※参考 寄附金(受入件数(医学部附属病院))</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>248件</td> <td>233件</td> <td>345件</td> <td>364件</td> <td>1502件</td> </tr> </tbody> </table> <p>寄附金(受入額)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,140,119 千円</td> <td>1,053,984 千円</td> <td>1,189,158 千円</td> <td>1,151,282 千円</td> <td>1,145,475 千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>寄附金(受入額)はH28年度～R2年度の5年間でH28年度の100.5%に増加している。</p> <p>寄附講座・研究部門(設置数)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11件</td> <td>8件</td> <td>16件</td> <td>24件</td> <td>21件</td> </tr> </tbody> </table> <p>寄附講座・研究部門(設置数)はH28年度～R2年度の5年間でH28年度の190.9%に増加している。</p> <p>寄附講座・研究部門(受入額)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>298,333 千円</td> <td>226,333 千円</td> <td>274,334 千円</td> <td>410,000 千円</td> <td>343,000 千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>寄附講座・研究部門(受入額)はH28年度～R2年度の5年間でH28年度の115.0%に増加している。</p> <p>以上から、寄附金の受入件数・受入額および寄附講座・研究部門の設置数・受入額は概ね良好であると評価する。</p> <p>【優れた点】</p> <p style="text-align: center;">—</p>	H28	H29	H30	R1	R2	1,223件	1,232件	1,406件	1,396件	2,464件	H28	H29	H30	R1	R2	248件	233件	345件	364件	1502件	H28	H29	H30	R1	R2	1,140,119 千円	1,053,984 千円	1,189,158 千円	1,151,282 千円	1,145,475 千円	H28	H29	H30	R1	R2	11件	8件	16件	24件	21件	H28	H29	H30	R1	R2	298,333 千円	226,333 千円	274,334 千円	410,000 千円	343,000 千円	B
H28	H29	H30	R1	R2																																																	
1,223件	1,232件	1,406件	1,396件	2,464件																																																	
H28	H29	H30	R1	R2																																																	
248件	233件	345件	364件	1502件																																																	
H28	H29	H30	R1	R2																																																	
1,140,119 千円	1,053,984 千円	1,189,158 千円	1,151,282 千円	1,145,475 千円																																																	
H28	H29	H30	R1	R2																																																	
11件	8件	16件	24件	21件																																																	
H28	H29	H30	R1	R2																																																	
298,333 千円	226,333 千円	274,334 千円	410,000 千円	343,000 千円																																																	

		【改善を要する点】 —	
		【検討を要する点】（評価レベルには影響しない） —	

点検・評価項目	評価基準	点検・評価結果																													
		判断理由等	評価レベル																												
項目15 FD 研修会の実施状況	○ファカルティ・ディベロップメントが、適正に実施されているか。また、ファカルティ・ディベロップメントが、教育活動の改善に結び付いているか。	<p>【収集データの分析】</p> <p>R2年度の「全学FD(ファカルティ・ディベロップメント)」、「学部・研究科等の授業改善に係るFD」の実施回数を分析する。</p> <p>全学FD</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>テーマ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回</td> <td>第3タームにおける同時双方向型のメディア授業実施に関するFD</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>2021年度のメディア授業の実施方針についてG Suite について</td> </tr> </tbody> </table> <p>学部・研究科等の授業改善に係るFD</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学部・研究科等</th> <th>開催回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国際教養学部(国際学術研究院)</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>文学部(人文科学研究院)</td> <td>2回</td> </tr> <tr> <td>法政経学部(社会科学研究院)</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>教育学部(教育学研究科)</td> <td>3回</td> </tr> <tr> <td>理学部(理学研究院)</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>工学部(工学研究院)</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>園芸学部(園芸学研究院)</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>医学部(医学研究院)</td> <td>45回</td> </tr> <tr> <td>薬学部(薬学研究院)</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>看護学部(看護学研究院)</td> <td>5回</td> </tr> </tbody> </table> <p>R2年度は全学FDが2回、学部・研究科等の授業改善に係るFDが各1回以上開催されており、成果が報告されている。</p> <p>以上から、ファカルティ・ディベロップメントが概ね適正に実施されており、ファカルティ・ディベロップメントが教育活動の改善に概ね結び付いていると評価する。</p> <p>【優れた点】</p> <p style="text-align: center;">—</p> <p>【改善を要する点】</p> <p style="text-align: center;">—</p> <p>【検討を要する点】(評価レベルには影響しない)</p> <p style="text-align: center;">—</p>	回数	テーマ	第1回	第3タームにおける同時双方向型のメディア授業実施に関するFD	第2回	2021年度のメディア授業の実施方針についてG Suite について	学部・研究科等	開催回数	国際教養学部(国際学術研究院)	1回	文学部(人文科学研究院)	2回	法政経学部(社会科学研究院)	1回	教育学部(教育学研究科)	3回	理学部(理学研究院)	1回	工学部(工学研究院)	1回	園芸学部(園芸学研究院)	1回	医学部(医学研究院)	45回	薬学部(薬学研究院)	1回	看護学部(看護学研究院)	5回	B
回数	テーマ																														
第1回	第3タームにおける同時双方向型のメディア授業実施に関するFD																														
第2回	2021年度のメディア授業の実施方針についてG Suite について																														
学部・研究科等	開催回数																														
国際教養学部(国際学術研究院)	1回																														
文学部(人文科学研究院)	2回																														
法政経学部(社会科学研究院)	1回																														
教育学部(教育学研究科)	3回																														
理学部(理学研究院)	1回																														
工学部(工学研究院)	1回																														
園芸学部(園芸学研究院)	1回																														
医学部(医学研究院)	45回																														
薬学部(薬学研究院)	1回																														
看護学部(看護学研究院)	5回																														

点検・評価項目	評価基準	点検・評価結果																																																																																	
		判断理由等	評価レベル																																																																																
項目16 授業改善に向けての取組状況	【学部】 ○授業評価を実施しているか。また、授業評価結果は、授業の改善に有効に活用されているか。	<p>【収集データの分析】</p> <p>R2年度に開講された授業科目における授業評価実施率、授業評価結果のフィードバックの有無を分析する。</p> <p>授業評価実施率(学部)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学部</th> <th>授業評価実施率</th> <th>開講科目数</th> <th>授業評価実施科目数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>普遍教育</td><td>99.8%</td><td>1,604</td><td>1,600</td></tr> <tr><td>国際教養</td><td>87.1%</td><td>170</td><td>148</td></tr> <tr><td>文</td><td>88.1%</td><td>580</td><td>511</td></tr> <tr><td>法政経</td><td>34.2%</td><td>365</td><td>125</td></tr> <tr><td>教育</td><td>45.7%</td><td>1,257</td><td>575</td></tr> <tr><td>理</td><td>81.2%</td><td>415</td><td>337</td></tr> <tr><td>工</td><td>0.0%</td><td>872</td><td>0</td></tr> <tr><td>園芸</td><td>48.7%</td><td>277</td><td>135</td></tr> <tr><td>医</td><td>100.0%</td><td>50</td><td>50</td></tr> <tr><td>薬</td><td>0.0%</td><td>144</td><td>0</td></tr> <tr><td>看護</td><td>57.3%</td><td>110</td><td>63</td></tr> </tbody> </table> <p>工学部、薬学部</p> <p>新型コロナウイルス感染症によるメディア授業化の影響で、従来の授業評価の実施を見送ったため、授業評価実施率が0.0%となっている。</p> <p>上記を除く授業評価実施率が100.0%未満の学部</p> <p>授業評価に適さない科目(例：受講者数が極めて少ない授業科目等)を除き、原則全ての授業科目で授業評価を実施している。</p> <p>授業評価実施率は上記の例外を除き100.0%を達成している。</p> <p>授業評価結果のフィードバックの有無(学部)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学部</th> <th>授業評価実施率</th> <th>教員へのフィードバック</th> <th>学生へのフィードバック</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>普遍教育</td><td>99.8%</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>国際教養</td><td>87.1%</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>文</td><td>88.1%</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>法政経</td><td>34.2%</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>教育</td><td>45.7%</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>理</td><td>81.2%</td><td>○</td><td>△</td></tr> <tr><td>工</td><td>0.0%</td><td>—</td><td>—</td></tr> </tbody> </table>	学部	授業評価実施率	開講科目数	授業評価実施科目数	普遍教育	99.8%	1,604	1,600	国際教養	87.1%	170	148	文	88.1%	580	511	法政経	34.2%	365	125	教育	45.7%	1,257	575	理	81.2%	415	337	工	0.0%	872	0	園芸	48.7%	277	135	医	100.0%	50	50	薬	0.0%	144	0	看護	57.3%	110	63	学部	授業評価実施率	教員へのフィードバック	学生へのフィードバック	普遍教育	99.8%	○	○	国際教養	87.1%	○	○	文	88.1%	○	○	法政経	34.2%	○	○	教育	45.7%	○	○	理	81.2%	○	△	工	0.0%	—	—	B
学部	授業評価実施率	開講科目数	授業評価実施科目数																																																																																
普遍教育	99.8%	1,604	1,600																																																																																
国際教養	87.1%	170	148																																																																																
文	88.1%	580	511																																																																																
法政経	34.2%	365	125																																																																																
教育	45.7%	1,257	575																																																																																
理	81.2%	415	337																																																																																
工	0.0%	872	0																																																																																
園芸	48.7%	277	135																																																																																
医	100.0%	50	50																																																																																
薬	0.0%	144	0																																																																																
看護	57.3%	110	63																																																																																
学部	授業評価実施率	教員へのフィードバック	学生へのフィードバック																																																																																
普遍教育	99.8%	○	○																																																																																
国際教養	87.1%	○	○																																																																																
文	88.1%	○	○																																																																																
法政経	34.2%	○	○																																																																																
教育	45.7%	○	○																																																																																
理	81.2%	○	△																																																																																
工	0.0%	—	—																																																																																

		<table border="1"> <tr> <td>園芸</td> <td>48.7%</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>医</td> <td>100.0%</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>薬</td> <td>0.0%</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>看護</td> <td>57.3%</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </table> <p>以下の学部を除き、授業評価結果のフィードバックが実施されている。</p> <p><u>理学部</u> 学生へのフィードバックの実施が授業担当教員の判断に委ねられている。</p> <p>以上から、学部において、授業評価を概ね実施しており、授業評価結果を授業の改善に概ね有効に活用しているが、一部の学部については検討を要すると評価する。</p> <p>【優れた点】 —</p> <p>【改善を要する点】 —</p> <p>【検討を要する点】(評価レベルには影響しない) 一部の学部において学生へのフィードバックの実施が授業担当教員の判断に委ねられている。</p>	園芸	48.7%	○	○	医	100.0%	○	○	薬	0.0%	—	—	看護	57.3%	○	○																												
園芸	48.7%	○	○																																											
医	100.0%	○	○																																											
薬	0.0%	—	—																																											
看護	57.3%	○	○																																											
<p>【大学院】 ○授業改善につながる取組は行っているか。</p>	<p>【収集データの分析】 R2年度に開講された授業科目における授業評価実施率、授業評価結果のフィードバックの有無を分析する。</p> <p>授業評価実施率(大学院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>研究科等</th> <th>授業評価実施率</th> <th>開講科目数</th> <th>授業評価実施科目数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人文公共</td> <td>100.0%</td> <td>877</td> <td>877</td> </tr> <tr> <td>専門法務</td> <td>98.8%</td> <td>86</td> <td>85</td> </tr> <tr> <td>教育</td> <td>21.5%</td> <td>622</td> <td>134</td> </tr> <tr> <td>融合理工(理)</td> <td>45.8%</td> <td>308</td> <td>141</td> </tr> <tr> <td>融合理工(工)</td> <td>0.0%</td> <td>122</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>園芸</td> <td>14.8%</td> <td>244</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>医学薬学(医)</td> <td>100.0%</td> <td>41</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>医学薬学(薬)</td> <td>0.0%</td> <td>14</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>看護</td> <td>19.8%</td> <td>172</td> <td>34</td> </tr> <tr> <td>総合国際</td> <td>65.5%</td> <td>29</td> <td>19</td> </tr> </tbody> </table> <p><u>融合理工学府(工学領域)、医学薬学府(薬学領域)</u> 新型コロナウイルス感染症によるメディア授業化の影響で、従来の授業評価の実施を見送ったため、授業評価実施率が0.0%となっている。</p>	研究科等	授業評価実施率	開講科目数	授業評価実施科目数	人文公共	100.0%	877	877	専門法務	98.8%	86	85	教育	21.5%	622	134	融合理工(理)	45.8%	308	141	融合理工(工)	0.0%	122	0	園芸	14.8%	244	36	医学薬学(医)	100.0%	41	41	医学薬学(薬)	0.0%	14	0	看護	19.8%	172	34	総合国際	65.5%	29	19	B
研究科等	授業評価実施率	開講科目数	授業評価実施科目数																																											
人文公共	100.0%	877	877																																											
専門法務	98.8%	86	85																																											
教育	21.5%	622	134																																											
融合理工(理)	45.8%	308	141																																											
融合理工(工)	0.0%	122	0																																											
園芸	14.8%	244	36																																											
医学薬学(医)	100.0%	41	41																																											
医学薬学(薬)	0.0%	14	0																																											
看護	19.8%	172	34																																											
総合国際	65.5%	29	19																																											

上記を除く授業評価実施率が 100.0%未満の研究科等
 授業評価に適さない科目(例：受講者数が極めて少ない授業科目等)を除き、
 原則全ての授業科目で授業評価を実施している。

授業評価実施率は上記の例外を除き 100.0%を達成している。

授業評価結果のフィードバックの有無(大学院)

研究科等	授業評価 実施率	教員への フィードバック	学生への フィードバック
人文公共	100.0%	○	○
専門法務	98.8%	○	○
教育	21.5%	○	○
融合理工(理)	45.8%	○	△
融合理工(工)	0.0%	—	—
園芸	14.8%	○	○
医学薬学(医)	100.0%	○	×
医学薬学(薬)	0.0%	—	—
看護	19.8%	○	×
総合国際	65.5%	○	△

以下の研究科等を除き、授業評価結果のフィードバックが実施されている。

融合理工学府(理学領域)、総合国際学位プログラム

学生へフィードバックの実施が授業担当教員の判断に委ねられている。

医学薬学府(医学領域)、看護学研究科

学生へのフィードバックが実施されていない。

以上から、大学院において、授業評価を概ね実施しており、授業評価結果
 を授業の改善に概ね有効に活用しているが、一部の研究科等については検討
 を要すると評価する。

【優れた点】

—

【改善を要する点】

—

【検討を要する点】(評価レベルには影響しない)

一部の研究科等において学生へのフィードバックが実施されていないか、
 授業担当教員の判断に委ねられている。

点検・評価項目	評価基準	点検・評価結果											
		判断理由等	評価レベル										
項目17 自己点検・評価の実施状況	○自己点検・評価を実施しているか。	<p>【収集データの分析】</p> <p>H28年度～R3年度の自己点検・評価の実施(予定)の有無を分析する。</p> <p>「分析対象組織」</p> <p>H28年度以前に設置された学部・大学院・教員組織・附属図書館・医学部附属病院・共同利用教育研究施設・国際共同教育研究施設・国際未来教育基幹キャビネット全学教育センター 39組織</p> <p>H28年度～R3年度に自己点検・評価を実施しない組織</p> <table border="1"> <tr> <td>真菌医学研究センター</td> </tr> </table> <p>分析対象組織のうち、H28年度～R3年度に自己点検評価を実施しない組織が占める割合は2.6%である。</p> <p>以上から、本学の組織は概ね自己点検・評価を実施していると評価する。</p> <p>【優れた点】</p> <p style="text-align: center;">—</p> <p>【改善を要する点】</p> <p style="text-align: center;">—</p> <p>【検討を要する点】(評価レベルには影響しない)</p> <p style="text-align: center;">—</p>	真菌医学研究センター	B									
	真菌医学研究センター												
○外部者(当該大学の教職員以外の者)による検証が実施(外部評価)されているか。	<p>【収集データの分析】</p> <p>H28年度～R3年度の外部評価の実施(予定)の有無を分析する。</p> <p>「分析対象組織」</p> <p>同上</p> <p>H28年度～R3年度に外部評価を実施しない組織</p> <table border="1"> <tr> <td>国際教養学部</td> </tr> <tr> <td>園芸学部</td> </tr> <tr> <td>薬学部</td> </tr> <tr> <td>園芸学研究科</td> </tr> <tr> <td>医学薬学府(薬学領域)</td> </tr> <tr> <td>薬学研究院</td> </tr> <tr> <td>共用機器センター</td> </tr> <tr> <td>統合情報センター</td> </tr> <tr> <td>海洋バイオシステム研究センター</td> </tr> <tr> <td>環境健康フィールド科学センター</td> </tr> <tr> <td>バイオメディカル研究センター</td> </tr> </table>	国際教養学部	園芸学部	薬学部	園芸学研究科	医学薬学府(薬学領域)	薬学研究院	共用機器センター	統合情報センター	海洋バイオシステム研究センター	環境健康フィールド科学センター	バイオメディカル研究センター	B
国際教養学部													
園芸学部													
薬学部													
園芸学研究科													
医学薬学府(薬学領域)													
薬学研究院													
共用機器センター													
統合情報センター													
海洋バイオシステム研究センター													
環境健康フィールド科学センター													
バイオメディカル研究センター													

		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="text-align: center;">社会精神保健教育研究センター</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">未来医療教育研究センター</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">再生治療学研究センター</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">千葉大学・上海交通大学国際共同研究センター</td></tr> </table> <p>分析対象組織のうち、H28 年度～R3 年度に外部評価を実施しない組織が占める割合は 38.5%であり、組織の質保証の観点から、一部の組織はより積極的に外部評価を実施することが望ましい。</p> <p>以上から、本学の組織は概ね外部評価を実施しているが、一部の組織について検討を要すると評価する。</p> <p>【優れた点】</p> <p style="text-align: center;">—</p> <p>【改善を要する点】</p> <p style="text-align: center;">—</p> <p>【検討を要する点】（評価レベルには影響しない）</p> <p style="text-align: center;">一部の組織はより積極的に外部評価を実施することが望ましい。</p>	社会精神保健教育研究センター	未来医療教育研究センター	再生治療学研究センター	千葉大学・上海交通大学国際共同研究センター																		
社会精神保健教育研究センター																								
未来医療教育研究センター																								
再生治療学研究センター																								
千葉大学・上海交通大学国際共同研究センター																								
○評価結果を大学内および社会に対して広く公開しているか。		<p>【収集データの分析】</p> <p>R2 年度に実施された自己点検・評価および外部評価の結果の公表の有無を分析する。</p> <p>R2 年度に実施された自己点検・評価および外部評価の結果の公表状況</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>組織</th> <th>種別</th> <th>公表</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医学部</td> <td>外部評価</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>専門法務研究科</td> <td>外部評価</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>医学研究院</td> <td>外部評価</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>医学部附属病院</td> <td>外部評価</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>環境リモートセンシング研究センター</td> <td>自己点検・評価 外部評価</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>子どものこころの発達教育研究センター</td> <td>自己点検・評価</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>R2 年度に実施された自己点検・評価および外部評価の結果は 100.0%公表されている。</p> <p>以上から、本学の組織は自己点検・評価および外部評価の結果を大学内および社会に対して広く公開していると評価する。</p> <p>【優れた点】</p> <p style="text-align: center;">—</p> <p>【改善を要する点】</p> <p style="text-align: center;">—</p> <p>【検討を要する点】（評価レベルには影響しない）</p> <p style="text-align: center;">—</p>	組織	種別	公表	医学部	外部評価	○	専門法務研究科	外部評価	○	医学研究院	外部評価	○	医学部附属病院	外部評価	○	環境リモートセンシング研究センター	自己点検・評価 外部評価	○	子どものこころの発達教育研究センター	自己点検・評価	○	B
組織	種別	公表																						
医学部	外部評価	○																						
専門法務研究科	外部評価	○																						
医学研究院	外部評価	○																						
医学部附属病院	外部評価	○																						
環境リモートセンシング研究センター	自己点検・評価 外部評価	○																						
子どものこころの発達教育研究センター	自己点検・評価	○																						

点検・評価項目	評価基準	点検・評価結果																																																				
		判断理由等	評価レベル																																																			
項目18 卒業(修了)生や就職先等の関係者からの意見聴取等の実施状況	○卒業(修了)生や、就職先等の関係者から意見聴取を行い、社会からのニーズ等を把握しているか。	<p>【収集データの分析】</p> <p>R2年度の「卒業(修了)生」「卒業(修了)生の主な雇用者」への意見聴取の実施の有無を分析する。</p> <p>「卒業(修了)生」への意見聴取</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学部・研究科等</th> <th>実施時期(頻度)</th> <th>実施形態</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全学</td> <td>卒業(修了)時</td> <td>アンケート</td> </tr> <tr> <td>教育学部</td> <td>卒業(修了)時</td> <td>アンケート</td> </tr> <tr> <td>工学部</td> <td>随時</td> <td>意見聴取</td> </tr> <tr> <td>人文公共学府</td> <td>卒業(修了)時</td> <td>アンケート</td> </tr> <tr> <td>教育学研究科</td> <td>卒業(修了)時</td> <td>アンケート</td> </tr> <tr> <td>看護学研究科</td> <td>卒業(修了)時</td> <td>アンケート</td> </tr> </tbody> </table> <p>「卒業(修了)生の主な雇用者」への意見聴取</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学部・研究科等</th> <th>実施時期(頻度)</th> <th>実施形態</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全学</td> <td>合同企業説明会時</td> <td>アンケート</td> </tr> <tr> <td>文学部</td> <td>随時</td> <td>意見聴取</td> </tr> <tr> <td>法政経学部</td> <td>随時</td> <td>意見聴取</td> </tr> <tr> <td>工学部</td> <td>随時</td> <td>意見聴取</td> </tr> <tr> <td>園芸学部</td> <td>随時</td> <td>意見聴取</td> </tr> <tr> <td>薬学部</td> <td>随時</td> <td>意見聴取</td> </tr> <tr> <td>融合理工学府 (工学領域)</td> <td>随時</td> <td>アンケート</td> </tr> <tr> <td>園芸学研究科</td> <td>随時</td> <td>意見聴取</td> </tr> <tr> <td>医学薬学府 (薬学領域)</td> <td>随時</td> <td>意見聴取</td> </tr> </tbody> </table> <p>「卒業(修了)生」、「卒業(修了)生の主な雇用者」を対象とした意見聴取を毎年度全学的に実施しており、学部・研究科等单位でも意見聴取を実施している。</p> <p>以上から、卒業(修了)生や、就職先等の関係者から意見聴取を行い、社会からのニーズ等を概ね把握していると評価する。</p> <p>【優れた点】</p> <p>—</p> <p>【改善を要する点】</p> <p>—</p> <p>【検討を要する点】(評価レベルには影響しない)</p> <p>—</p>	学部・研究科等	実施時期(頻度)	実施形態	全学	卒業(修了)時	アンケート	教育学部	卒業(修了)時	アンケート	工学部	随時	意見聴取	人文公共学府	卒業(修了)時	アンケート	教育学研究科	卒業(修了)時	アンケート	看護学研究科	卒業(修了)時	アンケート	学部・研究科等	実施時期(頻度)	実施形態	全学	合同企業説明会時	アンケート	文学部	随時	意見聴取	法政経学部	随時	意見聴取	工学部	随時	意見聴取	園芸学部	随時	意見聴取	薬学部	随時	意見聴取	融合理工学府 (工学領域)	随時	アンケート	園芸学研究科	随時	意見聴取	医学薬学府 (薬学領域)	随時	意見聴取	B
学部・研究科等	実施時期(頻度)	実施形態																																																				
全学	卒業(修了)時	アンケート																																																				
教育学部	卒業(修了)時	アンケート																																																				
工学部	随時	意見聴取																																																				
人文公共学府	卒業(修了)時	アンケート																																																				
教育学研究科	卒業(修了)時	アンケート																																																				
看護学研究科	卒業(修了)時	アンケート																																																				
学部・研究科等	実施時期(頻度)	実施形態																																																				
全学	合同企業説明会時	アンケート																																																				
文学部	随時	意見聴取																																																				
法政経学部	随時	意見聴取																																																				
工学部	随時	意見聴取																																																				
園芸学部	随時	意見聴取																																																				
薬学部	随時	意見聴取																																																				
融合理工学府 (工学領域)	随時	アンケート																																																				
園芸学研究科	随時	意見聴取																																																				
医学薬学府 (薬学領域)	随時	意見聴取																																																				

点検・評価項目	評価基準	点検・評価結果																																				
		判断理由等	評価レベル																																			
項目20 内部質保証が機能していることのエビデンス	○自己点検・評価の結果を踏まえて決定された対応措置の実施計画に対して、計画された取組が成果を上げているか、または計画された取組の進捗が確認されているか、あるいは、取組の計画に着手していることが確認されているか。	<p>【収集データの分析】</p> <p>自己点検・評価および外部評価の結果を踏まえて決定された対応計画の実施状況(H27年度～R2年度)を分析する。</p> <p>対応計画の実施状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>計画数</th> <th>対応済</th> <th>対応中</th> <th>検討中</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>20</td> <td>19</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>20</td> <td>19</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>46</td> <td>31</td> <td>15</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>H27年度～R1年度の5年間に決定された対応計画の95.1%が「対応済」となっている。R2年度の1年間に決定された対応計画の67.4%が「対応済」であり、32.6%が「対応中」となっている。</p> <p>以上から、自己点検・評価および外部評価の結果を踏まえて決定された対応計画に対して、計画された取組が成果を上げているか、または計画された取組の進捗が確認されているか、あるいは、取組の計画に着手していることが、概ね確認されていると評価する。</p> <p>【優れた点】</p> <p style="text-align: center;">—</p> <p>【改善を要する点】</p> <p style="text-align: center;">—</p> <p>【検討を要する点】(評価レベルには影響しない)</p> <p style="text-align: center;">—</p>	年度	計画数	対応済	対応中	検討中	H27	6	5	1	0	H28	12	12	0	0	H29	3	3	0	0	H30	20	19	1	0	R1	20	19	1	0	R2	46	31	15	0	B
年度	計画数	対応済	対応中	検討中																																		
H27	6	5	1	0																																		
H28	12	12	0	0																																		
H29	3	3	0	0																																		
H30	20	19	1	0																																		
R1	20	19	1	0																																		
R2	46	31	15	0																																		

点検・評価項目	評価基準	点検・評価結果																									
		判断理由等	評価レベル																								
項目28 千葉大学学習状況・情報利用環境調査	○附属図書館および千葉大学の学習環境の整備状況、学生の学習行動と学習成果の関連の検証が実施されているか。	<p>【収集データの分析】</p> <p>アカデミック・リンク・センターIR・FD・SD 連携部門にて学部学生を対象に実施されている「千葉大学学習状況・情報利用環境調査」の回収率の推移(H30年度～R2年度)を分析する。</p> <p>千葉大学学習状況・情報利用環境調査 2018</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回収率</th> <th>有効回答者数</th> <th>総回答者数</th> <th>対象学生数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>17.6%</td> <td>1,878人</td> <td>1,914人</td> <td>10,648人</td> </tr> </tbody> </table> <p>千葉大学学習状況・情報利用環境調査 2019</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回収率</th> <th>有効回答者数</th> <th>総回答者数</th> <th>対象学生数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>20.0%</td> <td>2,105人</td> <td>2,167人</td> <td>10,547人</td> </tr> </tbody> </table> <p>千葉大学学習状況・情報利用環境調査 2020</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回収率</th> <th>有効回答者数</th> <th>総回答者数</th> <th>対象学生数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>23.0%</td> <td>2,406人</td> <td>2,618人</td> <td>10,473人</td> </tr> </tbody> </table> <p>「千葉大学学習状況・情報利用環境調査」の回収率は H30 年度～R2 年度の3年間で 5.4 ポイント上昇している。</p> <p>以上から、附属図書館および千葉大学の学習環境の整備状況、学生の学習行動と学習成果の関連の検証が概ね実施されていると評価する。</p> <p>【優れた点】</p> <p style="text-align: center;">—</p> <p>【改善を要する点】</p> <p style="text-align: center;">—</p> <p>【検討を要する点】(評価レベルには影響しない)</p> <p style="text-align: center;">—</p>	回収率	有効回答者数	総回答者数	対象学生数	17.6%	1,878人	1,914人	10,648人	回収率	有効回答者数	総回答者数	対象学生数	20.0%	2,105人	2,167人	10,547人	回収率	有効回答者数	総回答者数	対象学生数	23.0%	2,406人	2,618人	10,473人	B
回収率	有効回答者数	総回答者数	対象学生数																								
17.6%	1,878人	1,914人	10,648人																								
回収率	有効回答者数	総回答者数	対象学生数																								
20.0%	2,105人	2,167人	10,547人																								
回収率	有効回答者数	総回答者数	対象学生数																								
23.0%	2,406人	2,618人	10,473人																								

②点検のみ実施する項目

点検項目	点検結果																																																																								
項目 1 9 教員公募の実施状況	<p>本務教員の新規採用における公募率の推移(H28 年度～R2 年度)を分析する。</p> <p>公募率(全学)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>公募率</th> <th>公募による採用者数</th> <th>新規採用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>39.5%</td> <td>45 人</td> <td>114 人</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>23.2%</td> <td>22 人</td> <td>95 人</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>25.8%</td> <td>24 人</td> <td>93 人</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>22.7%</td> <td>22 人</td> <td>97 人</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>31.9%</td> <td>36 人</td> <td>113 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>公募率は H28 年度～R2 年度の 5 年間で 7.6 ポイント低下している。</p> <p>なお、各年度の公募率が 20%未満かつ新規採用が 5 名以上の教員組織は以下のとおりである。</p> <p>公募率(医学研究院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>公募率</th> <th>公募による採用者数</th> <th>新規採用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>15.4%</td> <td>2 人</td> <td>13 人</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>11.1%</td> <td>2 人</td> <td>18 人</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>5.9%</td> <td>1 人</td> <td>17 人</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>0.0%</td> <td>0 人</td> <td>14 人</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>7.7%</td> <td>1 人</td> <td>13 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>公募率(医学部附属病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>公募率</th> <th>公募による採用者数</th> <th>新規採用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>0.0%</td> <td>0 人</td> <td>28 人</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>3.4%</td> <td>1 人</td> <td>29 人</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>0.0%</td> <td>0 人</td> <td>37 人</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>0.0%</td> <td>0 人</td> <td>35 人</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>0.0%</td> <td>0 人</td> <td>42 人</td> </tr> </tbody> </table>	年度	公募率	公募による採用者数	新規採用者数	H28	39.5%	45 人	114 人	H29	23.2%	22 人	95 人	H30	25.8%	24 人	93 人	R1	22.7%	22 人	97 人	R2	31.9%	36 人	113 人	年度	公募率	公募による採用者数	新規採用者数	H28	15.4%	2 人	13 人	H29	11.1%	2 人	18 人	H30	5.9%	1 人	17 人	R1	0.0%	0 人	14 人	R2	7.7%	1 人	13 人	年度	公募率	公募による採用者数	新規採用者数	H28	0.0%	0 人	28 人	H29	3.4%	1 人	29 人	H30	0.0%	0 人	37 人	R1	0.0%	0 人	35 人	R2	0.0%	0 人	42 人
年度	公募率	公募による採用者数	新規採用者数																																																																						
H28	39.5%	45 人	114 人																																																																						
H29	23.2%	22 人	95 人																																																																						
H30	25.8%	24 人	93 人																																																																						
R1	22.7%	22 人	97 人																																																																						
R2	31.9%	36 人	113 人																																																																						
年度	公募率	公募による採用者数	新規採用者数																																																																						
H28	15.4%	2 人	13 人																																																																						
H29	11.1%	2 人	18 人																																																																						
H30	5.9%	1 人	17 人																																																																						
R1	0.0%	0 人	14 人																																																																						
R2	7.7%	1 人	13 人																																																																						
年度	公募率	公募による採用者数	新規採用者数																																																																						
H28	0.0%	0 人	28 人																																																																						
H29	3.4%	1 人	29 人																																																																						
H30	0.0%	0 人	37 人																																																																						
R1	0.0%	0 人	35 人																																																																						
R2	0.0%	0 人	42 人																																																																						

点検項目	点検結果																																																																
項目 2 1 年俸制・クロスアポイントメント 教員数	<p>本務教員に占める年俸制教員比率、クロスアポイントメント教員比率の推移(H30年度～R2年度)を分析する。</p> <p>本務教員に占める年俸制教員比率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>年俸制教員比率</th> <th>年俸制教員数</th> <th>教員数(各年度 5/1 時点)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>50.7%</td> <td>664 人</td> <td>1,310 人</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>51.1%</td> <td>672 人</td> <td>1,314 人</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>60.3%</td> <td>804 人</td> <td>1,333 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>本務教員に占める年俸制教員比率は R1/5/1 時点～R3/5/1 時点の 3 年間で 9.6 ポイント上昇している。</p> <p>特任教員を除いた本務教員に占める年俸制教員比率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>年俸制教員比率</th> <th>年俸制教員数</th> <th>教員数(各年度 5/1 時点)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>10.9%</td> <td>121 人</td> <td>1,114 人</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>10.8%</td> <td>119 人</td> <td>1,103 人</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>19.1%</td> <td>213 人</td> <td>1,116 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>特任教員を除いた本務教員に占める年俸制教員比率は R1/5/1 時点～R3/5/1 時点の 3 年間で 8.2 ポイント上昇している。</p> <p>本務教員に占めるクロスアポイントメント教員比率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>クロスアポイントメント教員比率</th> <th>クロスアポイントメント教員数</th> <th>教員数(各年度 5/1 時点)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>1.1%</td> <td>14 人</td> <td>1,310 人</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>1.1%</td> <td>14 人</td> <td>1,314 人</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>0.9%</td> <td>12 人</td> <td>1,333 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>本務教員に占めるクロスアポイントメント教員比率は R1/5/1 時点～R3/5/1 時点の 3 年間で 0.2 ポイント低下している。</p> <p>特任教員を除いた本務教員に占めるクロスアポイントメント教員比率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>クロスアポイントメント教員比率</th> <th>クロスアポイントメント教員数</th> <th>教員数(各年度 5/1 時点)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>1.3%</td> <td>14 人</td> <td>1,114 人</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>1.3%</td> <td>14 人</td> <td>1,103 人</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>1.1%</td> <td>12 人</td> <td>1,116 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>特任教員を除いた本務教員に占めるクロスアポイントメント教員比率は R1/5/1 時点～R3/5/1 時点の 3 年間で 0.2 ポイント低下している。</p>	年度	年俸制教員比率	年俸制教員数	教員数(各年度 5/1 時点)	H30	50.7%	664 人	1,310 人	R1	51.1%	672 人	1,314 人	R1	60.3%	804 人	1,333 人	年度	年俸制教員比率	年俸制教員数	教員数(各年度 5/1 時点)	H30	10.9%	121 人	1,114 人	R1	10.8%	119 人	1,103 人	R2	19.1%	213 人	1,116 人	年度	クロスアポイントメント教員比率	クロスアポイントメント教員数	教員数(各年度 5/1 時点)	H30	1.1%	14 人	1,310 人	R1	1.1%	14 人	1,314 人	R1	0.9%	12 人	1,333 人	年度	クロスアポイントメント教員比率	クロスアポイントメント教員数	教員数(各年度 5/1 時点)	H30	1.3%	14 人	1,114 人	R1	1.3%	14 人	1,103 人	R2	1.1%	12 人	1,116 人
年度	年俸制教員比率	年俸制教員数	教員数(各年度 5/1 時点)																																																														
H30	50.7%	664 人	1,310 人																																																														
R1	51.1%	672 人	1,314 人																																																														
R1	60.3%	804 人	1,333 人																																																														
年度	年俸制教員比率	年俸制教員数	教員数(各年度 5/1 時点)																																																														
H30	10.9%	121 人	1,114 人																																																														
R1	10.8%	119 人	1,103 人																																																														
R2	19.1%	213 人	1,116 人																																																														
年度	クロスアポイントメント教員比率	クロスアポイントメント教員数	教員数(各年度 5/1 時点)																																																														
H30	1.1%	14 人	1,310 人																																																														
R1	1.1%	14 人	1,314 人																																																														
R1	0.9%	12 人	1,333 人																																																														
年度	クロスアポイントメント教員比率	クロスアポイントメント教員数	教員数(各年度 5/1 時点)																																																														
H30	1.3%	14 人	1,114 人																																																														
R1	1.3%	14 人	1,103 人																																																														
R2	1.1%	12 人	1,116 人																																																														

点検項目	点検結果																																																												
項目 2 2 テニユアトラック制の実施状況	<p data-bbox="544 203 1449 277"> テニユアトラック制による採用者数、テニユアポスト獲得率の推移(H20 年度～R2 年度)を分析する。 </p> <p data-bbox="568 338 1197 367"> テニユアトラック制による採用者数、テニユアポスト獲得率 </p> <table border="1" data-bbox="568 378 1422 1128"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>テニユアトラック制による採用者数</th> <th>テニユアポスト獲得者数</th> <th>テニユアポスト獲得率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H20</td><td>10 人</td><td>8 人</td><td>80.0%</td></tr> <tr><td>H21</td><td>1 人</td><td>1 人</td><td>100.0%</td></tr> <tr><td>H22</td><td>6 人</td><td>3 人</td><td>50.0%</td></tr> <tr><td>H23</td><td>4 人</td><td>4 人</td><td>100.0%</td></tr> <tr><td>H24</td><td>7 人</td><td>5 人</td><td>71.4%</td></tr> <tr><td>H25</td><td>6 人</td><td>3 人</td><td>50.0%</td></tr> <tr><td>H26</td><td>6 人</td><td>6 人</td><td>100.0%</td></tr> <tr><td>H27</td><td>4 人</td><td>1 人</td><td>25.0%</td></tr> <tr><td>H28</td><td>3 人</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>H29</td><td>0 人</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>H30</td><td>2 人</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>R1</td><td>0 人</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>R2</td><td>2 人</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>計</td><td>51 人</td><td>31 人/44 人</td><td>70.5%</td></tr> </tbody> </table> <p data-bbox="544 1137 1449 1211"> テニユアトラック制による採用者数は、H20 年度～R2 年度(13 年間)において H20 年度～H26 年度(前半の 7 年間)に 78.4%が集中している。 </p>	年度	テニユアトラック制による採用者数	テニユアポスト獲得者数	テニユアポスト獲得率	H20	10 人	8 人	80.0%	H21	1 人	1 人	100.0%	H22	6 人	3 人	50.0%	H23	4 人	4 人	100.0%	H24	7 人	5 人	71.4%	H25	6 人	3 人	50.0%	H26	6 人	6 人	100.0%	H27	4 人	1 人	25.0%	H28	3 人	—	—	H29	0 人	—	—	H30	2 人	—	—	R1	0 人	—	—	R2	2 人	—	—	計	51 人	31 人/44 人	70.5%
年度	テニユアトラック制による採用者数	テニユアポスト獲得者数	テニユアポスト獲得率																																																										
H20	10 人	8 人	80.0%																																																										
H21	1 人	1 人	100.0%																																																										
H22	6 人	3 人	50.0%																																																										
H23	4 人	4 人	100.0%																																																										
H24	7 人	5 人	71.4%																																																										
H25	6 人	3 人	50.0%																																																										
H26	6 人	6 人	100.0%																																																										
H27	4 人	1 人	25.0%																																																										
H28	3 人	—	—																																																										
H29	0 人	—	—																																																										
H30	2 人	—	—																																																										
R1	0 人	—	—																																																										
R2	2 人	—	—																																																										
計	51 人	31 人/44 人	70.5%																																																										

点検項目	点検結果																																																																																				
項目 2 3 留学生等の数	<p>留学生比率の推移(H28/5/1 時点～R3/5/1 時点)を分析する。</p> <p>留学生比率(全学)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>時点</th> <th>留学生比率</th> <th>留学生数</th> <th>学生数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28/5/1</td> <td>4.1%</td> <td>575 人</td> <td>14,190 人</td> </tr> <tr> <td>H29/5/1</td> <td>4.3%</td> <td>614 人</td> <td>14,125 人</td> </tr> <tr> <td>H30/5/1</td> <td>4.8%</td> <td>675 人</td> <td>14,171 人</td> </tr> <tr> <td>R1/5/1</td> <td>4.9%</td> <td>687 人</td> <td>13,983 人</td> </tr> <tr> <td>R2/5/1</td> <td>5.1%</td> <td>709 人</td> <td>13,832 人</td> </tr> <tr> <td>R3/5/1</td> <td>5.4%</td> <td>731 人</td> <td>13,644 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>全学の留学生比率は H28/5/1～R3/5/1 の 6 年間で 1.3 ポイント上昇しており、学部・研究科等单位で留学生比率が 6 年間で 10 ポイント以上上昇しているのは以下の研究科等である。</p> <p>留学生比率(人文公共学府(人文社会科学研究科含む))</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>時点</th> <th>留学生比率</th> <th>留学生数</th> <th>学生数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28/5/1</td> <td>25.5%</td> <td>59 人</td> <td>231 人</td> </tr> <tr> <td>H29/5/1</td> <td>32.6%</td> <td>76 人</td> <td>233 人</td> </tr> <tr> <td>H30/5/1</td> <td>34.6%</td> <td>75 人</td> <td>217 人</td> </tr> <tr> <td>R1/5/1</td> <td>34.6%</td> <td>73 人</td> <td>211 人</td> </tr> <tr> <td>R2/5/1</td> <td>34.8%</td> <td>69 人</td> <td>198 人</td> </tr> <tr> <td>R3/5/1</td> <td>38.4%</td> <td>58 人</td> <td>151 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>留学生比率(園芸学研究科)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>時点</th> <th>留学生比率</th> <th>留学生数</th> <th>学生数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28/5/1</td> <td>26.1%</td> <td>76 人</td> <td>291 人</td> </tr> <tr> <td>H29/5/1</td> <td>28.9%</td> <td>91 人</td> <td>315 人</td> </tr> <tr> <td>H30/5/1</td> <td>32.5%</td> <td>117 人</td> <td>360 人</td> </tr> <tr> <td>R1/5/1</td> <td>36.2%</td> <td>126 人</td> <td>348 人</td> </tr> <tr> <td>R2/5/1</td> <td>38.8%</td> <td>133 人</td> <td>343 人</td> </tr> <tr> <td>R3/5/1</td> <td>45.2%</td> <td>161 人</td> <td>356 人</td> </tr> </tbody> </table>	時点	留学生比率	留学生数	学生数	H28/5/1	4.1%	575 人	14,190 人	H29/5/1	4.3%	614 人	14,125 人	H30/5/1	4.8%	675 人	14,171 人	R1/5/1	4.9%	687 人	13,983 人	R2/5/1	5.1%	709 人	13,832 人	R3/5/1	5.4%	731 人	13,644 人	時点	留学生比率	留学生数	学生数	H28/5/1	25.5%	59 人	231 人	H29/5/1	32.6%	76 人	233 人	H30/5/1	34.6%	75 人	217 人	R1/5/1	34.6%	73 人	211 人	R2/5/1	34.8%	69 人	198 人	R3/5/1	38.4%	58 人	151 人	時点	留学生比率	留学生数	学生数	H28/5/1	26.1%	76 人	291 人	H29/5/1	28.9%	91 人	315 人	H30/5/1	32.5%	117 人	360 人	R1/5/1	36.2%	126 人	348 人	R2/5/1	38.8%	133 人	343 人	R3/5/1	45.2%	161 人	356 人
時点	留学生比率	留学生数	学生数																																																																																		
H28/5/1	4.1%	575 人	14,190 人																																																																																		
H29/5/1	4.3%	614 人	14,125 人																																																																																		
H30/5/1	4.8%	675 人	14,171 人																																																																																		
R1/5/1	4.9%	687 人	13,983 人																																																																																		
R2/5/1	5.1%	709 人	13,832 人																																																																																		
R3/5/1	5.4%	731 人	13,644 人																																																																																		
時点	留学生比率	留学生数	学生数																																																																																		
H28/5/1	25.5%	59 人	231 人																																																																																		
H29/5/1	32.6%	76 人	233 人																																																																																		
H30/5/1	34.6%	75 人	217 人																																																																																		
R1/5/1	34.6%	73 人	211 人																																																																																		
R2/5/1	34.8%	69 人	198 人																																																																																		
R3/5/1	38.4%	58 人	151 人																																																																																		
時点	留学生比率	留学生数	学生数																																																																																		
H28/5/1	26.1%	76 人	291 人																																																																																		
H29/5/1	28.9%	91 人	315 人																																																																																		
H30/5/1	32.5%	117 人	360 人																																																																																		
R1/5/1	36.2%	126 人	348 人																																																																																		
R2/5/1	38.8%	133 人	343 人																																																																																		
R3/5/1	45.2%	161 人	356 人																																																																																		

点検項目	点検結果																																																																																																																
項目 2 4 社会人学生数	<p>社会人学生比率の推移(H28/5/1 時点～R3/5/1 時点)を分析する。</p> <p>社会人学生比率(全学)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>時点</th> <th>社会人学生比率</th> <th>社会人学生数</th> <th>学生数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28/5/1</td> <td>7.0%</td> <td>993 人</td> <td>14,190 人</td> </tr> <tr> <td>H29/5/1</td> <td>7.3%</td> <td>1,035 人</td> <td>14,125 人</td> </tr> <tr> <td>H30/5/1</td> <td>6.4%</td> <td>907 人</td> <td>14,171 人</td> </tr> <tr> <td>R1/5/1</td> <td>6.6%</td> <td>917 人</td> <td>13,983 人</td> </tr> <tr> <td>R2/5/1</td> <td>5.6%</td> <td>768 人</td> <td>13,832 人</td> </tr> <tr> <td>R3/5/1</td> <td>5.2%</td> <td>710 人</td> <td>13,644 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>全学の社会人学生比率は H28/5/1～R3/5/1 の 6 年間で 1.8 ポイント低下しており、学部・研究科等单位で社会人学生比率が 6 年間で 10 ポイント以上低下しているのは以下の研究科等である。</p> <p>社会人学生比率の推移(専門法務研究科)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>時点</th> <th>社会人学生比率</th> <th>社会人学生数</th> <th>学生数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28/5/1</td> <td>26.9%</td> <td>21 人</td> <td>78 人</td> </tr> <tr> <td>H29/5/1</td> <td>32.1%</td> <td>18 人</td> <td>56 人</td> </tr> <tr> <td>H30/5/1</td> <td>23.6%</td> <td>13 人</td> <td>55 人</td> </tr> <tr> <td>R1/5/1</td> <td>20.8%</td> <td>10 人</td> <td>48 人</td> </tr> <tr> <td>R2/5/1</td> <td>17.9%</td> <td>10 人</td> <td>56 人</td> </tr> <tr> <td>R3/5/1</td> <td>12.5%</td> <td>8 人</td> <td>64 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>社会人学生比率の推移(園芸学研究科)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>時点</th> <th>社会人学生比率</th> <th>社会人学生数</th> <th>学生数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28/5/1</td> <td>16.8%</td> <td>49 人</td> <td>291 人</td> </tr> <tr> <td>H29/5/1</td> <td>17.8%</td> <td>56 人</td> <td>315 人</td> </tr> <tr> <td>H30/5/1</td> <td>15.3%</td> <td>55 人</td> <td>360 人</td> </tr> <tr> <td>R1/5/1</td> <td>10.6%</td> <td>37 人</td> <td>348 人</td> </tr> <tr> <td>R2/5/1</td> <td>7.9%</td> <td>27 人</td> <td>343 人</td> </tr> <tr> <td>R3/5/1</td> <td>5.6%</td> <td>20 人</td> <td>356 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>社会人学生比率の推移(医学薬学府)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>時点</th> <th>社会人学生比率</th> <th>社会人学生数</th> <th>学生数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28/5/1</td> <td>64.9%</td> <td>481 人</td> <td>741 人</td> </tr> <tr> <td>H29/5/1</td> <td>62.7%</td> <td>478 人</td> <td>762 人</td> </tr> <tr> <td>H30/5/1</td> <td>61.6%</td> <td>474 人</td> <td>769 人</td> </tr> <tr> <td>R1/5/1</td> <td>65.5%</td> <td>496 人</td> <td>757 人</td> </tr> <tr> <td>R2/5/1</td> <td>49.3%</td> <td>376 人</td> <td>763 人</td> </tr> <tr> <td>R3/5/1</td> <td>51.3%</td> <td>387 人</td> <td>755 人</td> </tr> </tbody> </table>	時点	社会人学生比率	社会人学生数	学生数	H28/5/1	7.0%	993 人	14,190 人	H29/5/1	7.3%	1,035 人	14,125 人	H30/5/1	6.4%	907 人	14,171 人	R1/5/1	6.6%	917 人	13,983 人	R2/5/1	5.6%	768 人	13,832 人	R3/5/1	5.2%	710 人	13,644 人	時点	社会人学生比率	社会人学生数	学生数	H28/5/1	26.9%	21 人	78 人	H29/5/1	32.1%	18 人	56 人	H30/5/1	23.6%	13 人	55 人	R1/5/1	20.8%	10 人	48 人	R2/5/1	17.9%	10 人	56 人	R3/5/1	12.5%	8 人	64 人	時点	社会人学生比率	社会人学生数	学生数	H28/5/1	16.8%	49 人	291 人	H29/5/1	17.8%	56 人	315 人	H30/5/1	15.3%	55 人	360 人	R1/5/1	10.6%	37 人	348 人	R2/5/1	7.9%	27 人	343 人	R3/5/1	5.6%	20 人	356 人	時点	社会人学生比率	社会人学生数	学生数	H28/5/1	64.9%	481 人	741 人	H29/5/1	62.7%	478 人	762 人	H30/5/1	61.6%	474 人	769 人	R1/5/1	65.5%	496 人	757 人	R2/5/1	49.3%	376 人	763 人	R3/5/1	51.3%	387 人	755 人
時点	社会人学生比率	社会人学生数	学生数																																																																																																														
H28/5/1	7.0%	993 人	14,190 人																																																																																																														
H29/5/1	7.3%	1,035 人	14,125 人																																																																																																														
H30/5/1	6.4%	907 人	14,171 人																																																																																																														
R1/5/1	6.6%	917 人	13,983 人																																																																																																														
R2/5/1	5.6%	768 人	13,832 人																																																																																																														
R3/5/1	5.2%	710 人	13,644 人																																																																																																														
時点	社会人学生比率	社会人学生数	学生数																																																																																																														
H28/5/1	26.9%	21 人	78 人																																																																																																														
H29/5/1	32.1%	18 人	56 人																																																																																																														
H30/5/1	23.6%	13 人	55 人																																																																																																														
R1/5/1	20.8%	10 人	48 人																																																																																																														
R2/5/1	17.9%	10 人	56 人																																																																																																														
R3/5/1	12.5%	8 人	64 人																																																																																																														
時点	社会人学生比率	社会人学生数	学生数																																																																																																														
H28/5/1	16.8%	49 人	291 人																																																																																																														
H29/5/1	17.8%	56 人	315 人																																																																																																														
H30/5/1	15.3%	55 人	360 人																																																																																																														
R1/5/1	10.6%	37 人	348 人																																																																																																														
R2/5/1	7.9%	27 人	343 人																																																																																																														
R3/5/1	5.6%	20 人	356 人																																																																																																														
時点	社会人学生比率	社会人学生数	学生数																																																																																																														
H28/5/1	64.9%	481 人	741 人																																																																																																														
H29/5/1	62.7%	478 人	762 人																																																																																																														
H30/5/1	61.6%	474 人	769 人																																																																																																														
R1/5/1	65.5%	496 人	757 人																																																																																																														
R2/5/1	49.3%	376 人	763 人																																																																																																														
R3/5/1	51.3%	387 人	755 人																																																																																																														

社会人学生比率の推移(看護学研究科)

時点	社会人学生比率	社会人学生数	学生数
H28/5/1	91.3%	158 人	173 人
H29/5/1	98.2%	161 人	164 人
H30/5/1	43.4%	72 人	166 人
R1/5/1	41.9%	70 人	167 人
R2/5/1	49.4%	77 人	156 人
R3/5/1	48.7%	77 人	158 人

点検項目	点検結果																																																						
項目 2 5 海外留学・海外派遣の実施状況	<p>海外留学(海外派遣)数の推移(H28年度～R2年度)を分析する。</p> <p>海外留学(海外派遣)数(全学)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>海外留学 (海外派遣)数</th> <th>実渡航による 海外留学 (海外派遣)数</th> <th>オンラインによる 海外留学 (海外派遣)数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>725 件</td> <td>725 件</td> <td>0 件</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>927 件</td> <td>927 件</td> <td>0 件</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>924 件</td> <td>924 件</td> <td>0 件</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>351 件</td> <td>351 件</td> <td>0 件</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>1,209 件</td> <td>22 件</td> <td>1,187 件</td> </tr> </tbody> </table> <p>全学の海外留学(海外派遣)数は H28 年度～R1 年度の 4 年間に H28 年度の 48.4%に減少したものの、R2 年度にオンラインによる海外留学(海外派遣)が大幅に増加したため、H28 年度～R2 年度の 5 年間では H28 年度の 166.8%に増加している。</p> <p>また、主要な海外留学(海外派遣)先別の件数の推移は以下のとおりである。</p> <p>主要な海外留学(海外派遣)先割合(全学)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>アジア</th> <th>欧州</th> <th>北米</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>53.0%</td> <td>21.7%</td> <td>16.3%</td> <td>9.0%</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>48.5%</td> <td>23.9%</td> <td>17.8%</td> <td>9.8%</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>52.9%</td> <td>20.8%</td> <td>17.4%</td> <td>8.9%</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>38.5%</td> <td>29.9%</td> <td>21.4%</td> <td>10.2%</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>11.8%</td> <td>17.7%</td> <td>38.4%</td> <td>32.1%</td> </tr> </tbody> </table> <p>H28 年度～R1 年度の 4 年間では「アジア」および「欧州」の占める比率が 70%前後を維持していたが、R2 年度にオンラインによる海外留学(海外派遣)が大幅に増加し、「北米」および「その他」の占める比率が 70%を上回った。</p> <p>なお、「その他」には複数の国と地域が関わる海外留学(海外派遣)が含まれる。</p>	年度	海外留学 (海外派遣)数	実渡航による 海外留学 (海外派遣)数	オンラインによる 海外留学 (海外派遣)数	H28	725 件	725 件	0 件	H29	927 件	927 件	0 件	H30	924 件	924 件	0 件	R1	351 件	351 件	0 件	R2	1,209 件	22 件	1,187 件	年度	アジア	欧州	北米	その他	H28	53.0%	21.7%	16.3%	9.0%	H29	48.5%	23.9%	17.8%	9.8%	H30	52.9%	20.8%	17.4%	8.9%	R1	38.5%	29.9%	21.4%	10.2%	R2	11.8%	17.7%	38.4%	32.1%
年度	海外留学 (海外派遣)数	実渡航による 海外留学 (海外派遣)数	オンラインによる 海外留学 (海外派遣)数																																																				
H28	725 件	725 件	0 件																																																				
H29	927 件	927 件	0 件																																																				
H30	924 件	924 件	0 件																																																				
R1	351 件	351 件	0 件																																																				
R2	1,209 件	22 件	1,187 件																																																				
年度	アジア	欧州	北米	その他																																																			
H28	53.0%	21.7%	16.3%	9.0%																																																			
H29	48.5%	23.9%	17.8%	9.8%																																																			
H30	52.9%	20.8%	17.4%	8.9%																																																			
R1	38.5%	29.9%	21.4%	10.2%																																																			
R2	11.8%	17.7%	38.4%	32.1%																																																			

点検項目	点検結果																																																		
項目 2 6 産業財産権・特許の出願・取得状況	<p>産業財産権の保有件数、特許の出願数・取得数、ライセンス契約件数・収入額の推移 (H28 年度～R2 年度) を分析する。</p> <p>産業財産権の保有件数</p> <table border="1" data-bbox="568 378 1423 472"> <thead> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>613 件</td> <td>634 件</td> <td>769 件</td> <td>749 件</td> <td>814 件</td> </tr> </tbody> </table> <p>産業財産権の保有件数は H28 年度～R2 年度の 5 年間で H28 年度の 132.8% に増加している。</p> <p>特許の出願数</p> <table border="1" data-bbox="568 658 1423 752"> <thead> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>139 件</td> <td>143 件</td> <td>139 件</td> <td>160 件</td> <td>144 件</td> </tr> </tbody> </table> <p>特許の出願数は H28 年度～R2 年度の 5 年間で H28 年度の 103.6% に増加している。</p> <p>特許の取得数</p> <table border="1" data-bbox="568 891 1423 985"> <thead> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>85 件</td> <td>75 件</td> <td>106 件</td> <td>101 件</td> <td>60 件</td> </tr> </tbody> </table> <p>特許の出願数は H28 年度～R2 年度の 5 年間で H28 年度の 70.6% に減少している。</p> <p>ライセンス契約件数</p> <table border="1" data-bbox="568 1124 1423 1218"> <thead> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>18 件</td> <td>37 件</td> <td>59 件</td> <td>75 件</td> <td>87 件</td> </tr> </tbody> </table> <p>ライセンス契約件数は H28 年度～R2 年度の 5 年間で H28 年度の 483.3% に増加している。</p> <p>ライセンス契約収入額</p> <table border="1" data-bbox="568 1402 1423 1541"> <thead> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5,895 千円</td> <td>12,441 千円</td> <td>15,860 千円</td> <td>44,652 千円</td> <td>16,779 千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>ライセンス契約収入額は H28 年度～R2 年度の 5 年間で H28 年度の 284.6% に増加している。</p>	H28	H29	H30	R1	R2	613 件	634 件	769 件	749 件	814 件	H28	H29	H30	R1	R2	139 件	143 件	139 件	160 件	144 件	H28	H29	H30	R1	R2	85 件	75 件	106 件	101 件	60 件	H28	H29	H30	R1	R2	18 件	37 件	59 件	75 件	87 件	H28	H29	H30	R1	R2	5,895 千円	12,441 千円	15,860 千円	44,652 千円	16,779 千円
H28	H29	H30	R1	R2																																															
613 件	634 件	769 件	749 件	814 件																																															
H28	H29	H30	R1	R2																																															
139 件	143 件	139 件	160 件	144 件																																															
H28	H29	H30	R1	R2																																															
85 件	75 件	106 件	101 件	60 件																																															
H28	H29	H30	R1	R2																																															
18 件	37 件	59 件	75 件	87 件																																															
H28	H29	H30	R1	R2																																															
5,895 千円	12,441 千円	15,860 千円	44,652 千円	16,779 千円																																															

点検項目	点検結果																																																												
項目 2 7 研究業績の発表状況	<p>本務教員の査読付き論文(英語論文・日本語論文)の発表数の推移(H28 年度～R2 年度)を分析する。</p> <p>査読付き論文(英語論文)発表数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,485 件</td> <td>2,718 件</td> <td>2,807 件</td> <td>3,158 件</td> <td>2,232 件</td> </tr> </tbody> </table> <p>査読付き論文(英語論文)発表数はH28 年度～R1 年度の4年間でH28 年度の127.1%に増加していたが、R2 年度に大幅に減少したため、H28 年度～R2 年度の5年間ではH28 年度の89.8%に減少している。</p> <p>査読付き論文(日本語論文)発表数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,093 件</td> <td>628 件</td> <td>626 件</td> <td>555 件</td> <td>472 件</td> </tr> </tbody> </table> <p>査読付き論文(日本語論文)発表数はH28 年度～R2 年度の5年間でH28 年度の43.2%に減少している。</p> <p>大学院生による論文(外国語論文・日本語論文)の採択率、論文の受賞率(国外・国内)、コンペ等における受賞率(国外・国内)の推移(H30 年度～R2 年度)を分析する。</p> <p>大学院生による論文(外国語論文)の採択率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>論文の採択率</th> <th>論文の採択数</th> <th>学生数 (各年度 5/1 時点)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>28.9%</td> <td>1,019 件</td> <td>3,521 人</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>23.5%</td> <td>788 件</td> <td>3,354 人</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>22.1%</td> <td>744 件</td> <td>3,359 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>大学院生による論文(外国語論文)の採択率は H30 年度～R2 年度の3年間で 6.8 ポイント低下している。</p> <p>大学院生による論文(日本語論文)の採択率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>論文の採択率</th> <th>論文の採択数</th> <th>学生数 (各年度 5/1 時点)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>19.0%</td> <td>669 件</td> <td>3,521 人</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>17.4%</td> <td>583 件</td> <td>3,354 人</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>17.0%</td> <td>572 件</td> <td>3,359 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>大学院生による論文(日本語論文)の採択率は H30 年度～R2 年度の3年間で 2.0 ポイント低下している。</p> <p>大学院生による論文の受賞率(国外)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>論文の受賞率</th> <th>論文の受賞数</th> <th>学生数 (各年度 5/1 時点)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>0.8%</td> <td>27 件</td> <td>3,521 人</td> </tr> </tbody> </table>	H28	H29	H30	R1	R2	2,485 件	2,718 件	2,807 件	3,158 件	2,232 件	H28	H29	H30	R1	R2	1,093 件	628 件	626 件	555 件	472 件	年度	論文の採択率	論文の採択数	学生数 (各年度 5/1 時点)	H30	28.9%	1,019 件	3,521 人	R1	23.5%	788 件	3,354 人	R2	22.1%	744 件	3,359 人	年度	論文の採択率	論文の採択数	学生数 (各年度 5/1 時点)	H30	19.0%	669 件	3,521 人	R1	17.4%	583 件	3,354 人	R2	17.0%	572 件	3,359 人	年度	論文の受賞率	論文の受賞数	学生数 (各年度 5/1 時点)	H30	0.8%	27 件	3,521 人
H28	H29	H30	R1	R2																																																									
2,485 件	2,718 件	2,807 件	3,158 件	2,232 件																																																									
H28	H29	H30	R1	R2																																																									
1,093 件	628 件	626 件	555 件	472 件																																																									
年度	論文の採択率	論文の採択数	学生数 (各年度 5/1 時点)																																																										
H30	28.9%	1,019 件	3,521 人																																																										
R1	23.5%	788 件	3,354 人																																																										
R2	22.1%	744 件	3,359 人																																																										
年度	論文の採択率	論文の採択数	学生数 (各年度 5/1 時点)																																																										
H30	19.0%	669 件	3,521 人																																																										
R1	17.4%	583 件	3,354 人																																																										
R2	17.0%	572 件	3,359 人																																																										
年度	論文の受賞率	論文の受賞数	学生数 (各年度 5/1 時点)																																																										
H30	0.8%	27 件	3,521 人																																																										

R1	0.4%	15 件	3,354 人
R2	0.4%	13 件	3,359 人

大学院生による論文の受賞率(国外)は H30 年度～R2 年度の 3 年間で 0.4 ポイント低下している。

大学院生による論文の受賞率(国内)

年度	論文の受賞率	論文の受賞数	学生数 (各年度 5/1 時点)
H30	1.9%	67 件	3,521 人
R1	2.7%	92 件	3,354 人
R2	1.7%	58 件	3,359 人

大学院生による論文の受賞率(国内)は H30 年度～R2 年度の 3 年間で 0.2 ポイント低下している。

大学院生によるコンペ等における受賞率(国外)

年度	受賞率	受賞数	学生数 (各年度 5/1 時点)
H30	0.5%	18 件	3,521 人
R1	0.8%	26 件	3,354 人
R2	0.4%	14 件	3,359 人

大学院生による各コンペ等における受賞率(国外)は H30 年度～R2 年度の 3 年間で 0.1 ポイント低下している。

大学院生によるコンペ等における受賞率(国内)

年度	受賞率	受賞数	学生数 (各年度 5/1 時点)
H30	4.0%	142 件	3,521 人
R1	4.2%	142 件	3,354 人
R2	1.7%	58 件	3,359 人

大学院生による各コンペ等における受賞率(国内)は H30 年度～R2 年度の 3 年間で 2.3 ポイント低下している。

○国立大学法人千葉大学点検・評価規程

(平成20年4月1日)

改正 平成23年10月1日 平成26年10月1日
 平成27年4月1日 平成27年10月1日
 平成28年4月1日 平成29年4月1日
 平成30年4月1日 平成30年8月1日
 平成31年4月1日 令和元年7月1日
 令和3年4月1日

(趣旨)

第1条 この規程は、学校教育法（昭和22年法律第26号）第109条第1項の規定に基づき、国立大学法人千葉大学（以下「本学」という。）の教育及び研究、組織及び運営並びに施設及び設備（以下「教育研究等」という。）の状況について自ら行う点検及び評価（以下「点検・評価」という。）に関し必要な事項を定める。

(定義)

第2条 この規程において点検・評価を実施する「部局」は、運営基盤機構大学評価部門が別に定める。

2 この規程において「部局長」とは前項に定める部局の長をいう。

3 この規程において、「法人評価」とは、国立大学法人法（平成15年法律第112号）第31条の2の規定に基づく国立大学法人評価委員会による評価をいう。

4 この規程において、「認証評価」とは、学校教育法第109条第2項及び第3項の規定に基づく認証評価機関による評価をいう。

(全学の点検・評価)

第3条 全学の点検・評価は、法人評価及び認証評価の評価基準等を基に、必要に応じて本学の教育研究等に関する評価項目を加えて設定し、これに則した点検・評価を実施する。

2 全学の点検・評価の実施組織及びその運営に関する事項は別に定める。

(部局の点検・評価)

第4条 部局における点検・評価の実施組織として、各部局に点検・評価委員会等を置く。

2 前項の規定にかかわらず、学部、研究科、学府、研究院等の複数部局において一体的に点検・評価を行うことが適当な場合にあつては、当該複数部局を一部局として取り扱うことができる。

3 各部局の点検・評価及び点検・評価委員会等に関して必要な事項は、部局長が別に定める。

4 部局長は、点検・評価委員会等が行った点検・評価の結果について、学長に報告するものとする。

(評価結果への対応)

第5条 学長及び部局長は、本規程による点検・評価及び外部機関による第三者評価等の評価結果に基づき、改善が必要と認められるものについては、改善計画を策定し、その改善に努めなければならない。

(改善の実施勧告)

第6条 前条にかかる改善計画及び改善の実施結果については、教育研究評議会で報告を行うものとする。

2 学長は、改善の実施結果について、十分な改善が図られたと認められない場合には、当該部局長等に対し、改善の実施勧告を行うことができるものとする。

(評価結果の公表)

第7条 全学及び部局が行った点検・評価の結果は、刊行物、ホームページ等により報告書として学内外に公表するものとする。

(内部質保証)

第8条 学長は、本規程に基づき実施する点検・評価及び改善により、本学の教育研究等の水準の維持向上を図らなければならない。

2 前項の実施に関し必要な事項は別に定める。

(事務)

第9条 全学の点検・評価に関する事務は、関係部局の協力を得て企画総務部企画政策課において処理し、各部局の点検・評価委員会等の事務は、当該部局の事務を担当する課等において処理する。

(雑則)

第10条 この規程に定めるもののほか、点検・評価に関し必要な事項は別に定める。

附 則

1 この規程は、平成20年4月1日から施行する。

2 国立大学法人千葉大学自己点検・評価に関する規程（平成16年4月1日制定）及び国立大学法人千葉大学学内評価規程（平成16年4月1日制定）は、廃止する。

附 則（平成23年10月1日）

この規程は、平成23年10月1日から施行する。

附 則（平成26年10月1日）

この規程は、平成26年10月1日から施行する。

附 則（平成27年4月1日）

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

附 則（平成27年10月1日）

この規程は、平成27年10月1日から施行する。

附 則（平成28年4月1日）

この規程は、平成28年4月1日から施行する。

附 則（平成29年4月1日）

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

附 則（平成30年4月1日）

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

附 則（平成30年8月1日）

この規程は、平成30年8月1日から施行する。

附 則（平成31年4月1日）

この規程は、平成31年4月1日から施行する。

附 則（令和元年7月1日）

この規程は、令和元年7月1日から施行する。

附 則（令和3年4月1日）

この規程は、令和3年4月1日から施行する。

国立大学法人千葉大学における全学の点検・評価に関する実施要項

1. 目的

この要項は、国立大学法人千葉大学点検・評価規程第3条に定める全学の点検・評価の実施方法等について必要な事項を定める。

2. 大学基本データ分析による点検・評価

(1) データの収集

企画政策課は、毎年度、大学ポートレート及びその他必要と認められるデータを部局等から収集し、運営基盤機構大学評価部門認証評価対応部会（以下「認証評価対応部会」という。）に提出する。

(2) 大学基本データ分析報告書の作成，報告

認証評価対応部会は、前項の資料を参考に、認証評価基準等に基づき全学の自己点検・評価を行い、その結果を「大学基本データ分析による自己点検・評価書」として決定し、教育研究評議会に報告する。

3. 認証評価に基づく自己点検・評価

(1) 認証評価基準に基づく実施状況の確認

企画政策課は、認証評価実施の前年度に、認証評価基準に基づく実施状況資料を各部局等から収集することにより、認証評価基準に基づく実施状況の確認を行うとともに、各部局等の業務執行について、必要とされる業務の手順を踏まえたものとなっているかの確認を行う。収集した資料については、認証評価対応部会に提出する。

(2) 自己点検・評価書の作成，報告

認証評価対応部会は、前項の資料を参考に、認証評価基準に基づき全学の自己点検・評価を行い、その結果を「認証評価基準に基づく自己点検・評価書」として決定し、教育研究評議会に報告する。

(3) 意見申立機会の付与

認証評価対応部会は、前項の自己点検・評価の結果を決定しようとするときは、あらかじめ、各部局等の長に意見の申立ての機会を付与するものとする。

(4) 改善すべき事項等の通知

認証評価対応部会は、自己点検・評価の結果に基づき改善すべき事項等について当該部局等の長に通知し、報告を求めることができる。

(5) 自己点検・評価の公表

「認証評価基準に基づく自己点検・評価書」は本学の自己点検・評価報告書として、学内外に公表する。

4. 年度計画の進捗状況に基づく自己点検・評価

(1) 年度計画の進捗状況の確認

企画政策課は、年度計画の実施状況について、年度途中に各部局等の進捗状況を記した資料を各部局等から収集することにより、年度計画の進捗状況の確認を行うとともに、各部局等の業務執行について、必要とされる業務の手順を踏まえたものとなっているかの確認を行う。収集した資料については、運営基盤機構大学評価部門中期目標対応部会（以下「中期目標対応部会」という。）に提出する。

(2) 自己点検・評価書の作成，報告

中期目標対応部会は前項の資料を参考に、年度計画の進捗状況について全学の自己点検・評価を行い、その結果を「年度計画の進捗状況に基づく自己点検・評価書」として決定し、教育研究評議会に報告する。

5. 年度計画の実施状況に基づく自己点検・評価

(1) 年度計画の実施状況の確認

企画政策課は、毎年度、前年度の年度計画実施状況資料を各部局等から収集することにより、年度計画の実施状況の確認を行うとともに、各部局等の業務執行について、必要とされる業務の手順を踏まえたものとなっているかの確認を行う。収集した資料については、中期目標対応部会に提出する。

(2) 自己点検・評価書等の作成、報告

中期目標対応部会は、前項の資料を参考に、年度計画の実施状況について全学の自己点検・評価を行い、その結果を「年度計画の実施状況に基づく自己点検・評価書」として決定し、教育研究評議会に報告するとともに、「年度計画の実施状況に基づく自己点検・評価書」に基づいた「当該事業年度に係る業務の実績に関する報告書」を作成する。

(3) 意見申立機会の付与

中期目標対応部会は、「当該事業年度に係る業務の実績に関する報告書」について、あらかじめ、各部局等の長に意見の申立ての機会を付与するものとする。

(4) 改善すべき事項等の通知

中期目標対応部会は、自己点検・評価結果に基づき改善すべき事項等について当該部局等の長に通知し、報告を求めることができる。

(5) 自己点検・評価の公表

「年度計画の実施状況に基づく自己点検・評価書」は本学の自己点検・評価報告書として、学内外に公表する。

6. 中期目標の実施状況に基づく自己点検・評価

(1) 中期目標の実施状況の確認

企画政策課は、中期目標期間の業務実績評価の実施前年度に、中期目標の実施状況を各部局等から収集することにより、中期目標期間の実施状況の確認を行う。収集した資料については、中期目標対応部会に提出する。

(2) 自己点検・評価書等の作成、報告

中期目標対応部会は、前項の資料を参考に、中期目標の実施状況について全学の自己点検・評価を行い、その結果を「中期目標の実施状況に基づく自己点検・評価書」として決定し、教育研究評議会に報告するとともに、「中期目標の実施状況に基づく自己点検・評価書」に基づいた「中期目標の達成状況報告書」等を作成する。

(3) 意見申立機会の付与

中期目標対応部会は、「中期目標の達成状況報告書」等について、あらかじめ、各部局等の長に意見の申立ての機会を付与するものとする。

(4) 改善すべき事項等の通知

中期目標対応部会は、自己点検・評価の結果に基づき改善すべき事項等について当該部局等の長に通知し、報告を求めることができる。

(5) 自己点検・評価書の公表

「中期目標の実施状況に基づく自己点検・評価書」は本学の自己点検・評価報告書として、学内外に公表する。

7. その他

この要項に定めるもののほか、全学の点検・評価の実施方法等に関し、必要な事項は、別に定める。

附 則

この要項は、平成20年4月1日から実施する。

附 則

この要項は、平成23年4月1日から実施する。

附 則

この要項は、平成26年10月1日から実施する。

附 則

この要項は、平成27年4月1日から実施する。

大学基本データ分析による点検・評価実施要領

国立大学法人千葉大学点検・評価規程及び国立大学法人千葉大学における全学の点検・評価に関する実施要項に定める「大学基本データ分析による点検・評価」に係る全学の点検・評価は、この実施要領により行うものとする。

1 収集データ

毎年度、本点検・評価のために収集するデータは、運営基盤機構大学評価部門認証評価対応部会において定める。

2 点検・評価項目、点検のみ実施する項目

大学評価部門認証評価対応部会は、「1」で収集したデータに基づき、当該年度に実施する「点検・評価項目」及び「点検のみ実施する項目」を定める。

3 評価基準

「2」で定めた「点検・評価項目」に対する「評価基準」については、大学評価部門認証評価対応部会において定める。

4 点検・評価の実施

大学評価部門認証評価対応部会の構成員が、点検・評価を行う。

5 点検・評価の方法

大学評価部門認証評価対応部会は、「2」で定めた「点検・評価項目」「点検のみ実施する項目」の区別に従い、次のとおり点検・評価を行う。

①「点検・評価項目」

各「点検・評価項目」について、収集したデータの分析結果等に基づき、「3」で定める「評価基準」により点検・評価を実施し、次の「評価レベル」に基づいて三段階の判定を行う。

また、「点検・評価項目」に関する全学の状況等についてのコメントを付すとともに、『優れた点』及び『改善または検討を要する点』の指摘を行う。

【評価レベル】

判定区分	評 価
A	評価基準に示している内容について、『優れた点』があり、十分に行われている。
B	評価基準に示している内容について、概ね行われており、相応である。
C	評価基準に示している内容について、改善の必要がある。

※なお、公に定められている基準等に照らして判定すべき項目については、上記判定区分によらず、『基準等に適合』または『基準等に不適合』で判定する。

②「点検のみ実施する項目」

各「点検のみ実施する項目」について、収集したデータに基づき分析を行う。

6 点検・評価書の作成

大学評価部門長は、「5」による点検・評価の結果等を基に、認証評価対応部会において、合議により「大学基本データ分析による自己点検・評価書」を決定する。

国立大学法人千葉大学における全学の点検・評価に関する実施要項 第2項の大学基本データについて

大学評価部門認証評価対応部会において、大学基本データ分析による点検・評価のため、毎年度収集するデータは下記のとおりとする。

1. 国立大学法人評価に使用するデータと重複するもの

- ①専任教員数
- ②年齢別本務教員数
- ③女性教員の比率
- ④外国人教員の比率
- ⑤入試状況（志願者、受験者、合格者、入学者数）
- ⑥休学者、退学者、留年者、転部・転科者数
- ⑦留学生数
- ⑧社会人学生数
- ⑨資格取得状況
- ⑩卒業・修了者数（卒業後の進路及び不明者の割合を含む。）
- ⑪T A・R Aの雇用時間数
- ⑫科学研究費補助金の申請・採択状況
- ⑬競争的外部資金（科研費を除く。）の採択状況
- ⑭共同研究・受託研究の実施状況
- ⑮寄附金の受入状況
- ⑯産業財産権・特許の出願・取得状況
- ⑰海外留学・海外派遣の実施状況

2. 上記以外で認証評価基準に基づき収集するデータ

- ①教員の採用・昇任状況
- ②年俸制・クロスアポイントメント教員数
- ③テニュアトラック制の実施状況
- ④単位修得状況及び学生の成績分布
- ⑤F Dの実施状況（F D受講教員比率及び実施の結果、改善・向上に結び付いた内容を含む。）
- ⑥学生の授業評価の実施状況（授業科目数・実施率、集計結果の分析状況及び改善等の対応状況を含む。）
- ⑦自己点検・評価の実施状況（評価結果に基づく改善内容を含む。）
- ⑧卒業（修了）生や就職先等の関係者からの意見聴取等の実施状況（集計結果の分析状況及び改善等の対応状況を含む。）
- ⑨研究業績の発表状況（R 元～大学院学生の論文の採択数等を追加）
- ⑩内部質保証が機能していることのエビデンス
- ⑪千葉大学学習状況・情報利用環境調査

令和3年度大学基本データ分析による全学の点検・評価の項目等について

1. 点検・評価を実施する項目

点検・評価項目	評価基準	評価する際の具体的方法
項目1 専任教員数	○学士課程において、必要な専任教員が確保されているか。 ○大学院課程（専門職学位課程を除く。）において、必要な研究指導教員及び研究指導補助教員が確保されているか。 ○専門職学位課程において、必要な専任教員（実務の経験を有する教員を含む。）が確保されているか。	大学設置基準等に適合しているかどうか
項目2 年齢別本務教員数	○教員組織の活動をより活性化するための適切な措置として、年齢のバランスがとれているか。	年齢を ～24、25～34、35～44、45～54、55～64、65歳以上で区分し、特定の範囲の年齢に著しい偏りがないかを職種毎に確認
項目3 女性教員の比率	○教員組織の活動をより活性化するための適切な措置として、性別のバランスへの配慮がされているか。（大学全体に占める女性教員の比率は向上しているか。）	女性教員の比率は、 ①常勤教員のみ ②常勤教員+特任教員 の2通りに分けて確認をする。
項目4 外国人教員の比率	○教員組織の活動をより活性化するための適切な措置として、外国人教員の確保がなされているか。（大学全体に占める外国人教員の比率は向上されているか。）	外国人教員の比率は、 ①常勤教員のみ ②常勤教員+特任教員 の2通りに分けて確認をする。
項目5 入試状況（志願倍率、定員超過率等）及び収容定員に対する充足状況	○入学者数が、入学定員を大幅に超える、又は大幅に下回る状況になっていないか。 【視点】 入学定員超過率 （学部） 入学定員の規模により超過率を設定 大規模（入学定員：300人超） 27年度：110%以上、28年度：109%以上、 29年度：107%以上、30年度以降：105%以上 中規模（入学定員：100人超300人以下） 27年度以降：110%以上 小規模（入学定員：100人以下） 27年度：120%以上、28年度：119%以上、 29年度：117%以上、30年度以降：115%以上 R2年度：110%以上（*） ※H27.7.31付け文部科学省高等教育局長通知「平成28年度以降の国立大学の学部における定員超過の抑制について」による。 * 文部科学省公募事業の申請要件を考慮し、R2年度以降は超過率を110%以上と設定する。 （大学院） 上限130% 下限70% ※大学評価・学位授与機構による大学機関別認証評価の視点による。（学生募集を行う組織単位ごとの過去5年間の入学定員） ○収容定員に対して未充足・超過となっていないか。 【視点】 定員充足率 90% 定員超過率 110% ※「第3期中期目標期間の業務実績評価に係る実施要領」等による。 ○学部の志願倍率は良好か。	【評価する際の具体的方法】 ○入学定員超過率 入学定員に対する入学者の割合が超過又は未充足の場合は改善を求める。 （文部科学省及び大学評価・学位授与機構の視点） ○収容定員の充足率・超過率 超過率については、学科・専攻等单位で、110%以上は指摘 充足率については、専攻単位で、90%未満は指摘 （中期目標・中期計画関係の視点）
項目6 単位修得状況及び学生の成績分布	○単位修得状況は良好か。 ○学生の成績分布の結果から、教育の成果が確認できるか。	単位修得状況を経年で確認。 学部と研究科に分け、他学部・研究科と比較しながら、不可の割合を参考とし、経年の状況で評価。
項目7 休学者、退学者、留年者数	○休学者、退学者、留年者数の改善が図られているか。	経年で比較。また、他学部・他研究科と比較し、状況が悪い場合にはその旨記載。

点検・評価項目	評価基準	評価する際の具体的方法
項目8 資格取得状況	○資格取得状況は良好か。	資格取得率で判断。
項目9 卒業・修了者数 及び就職率	○卒業（修了）率は良好か。 ○卒業（修了）生の就職率は良好か。	経年の卒業率・修了率を確認。 経年の就職率を確認。 減少傾向にある学部・研究科については、指摘。 ①卒業（修了）生に占める就職者の割合（就職者数／卒業（修了）生数） ②就職率（就職者数／就職希望者数）
項目10 TA・RAの雇用実績	○TA等の教育・研究補助者の活用が図られているか。 ○大学として、特別RA制度を活用し、学生に対する経済的支援が図られているか。	雇用実績を比較。 特別RAとしての雇用実績。
項目11 科学研究費補助金の申請・内定状況	○科学研究費補助金獲得のため、積極的に申請をおこなっているか。 また、内定件数及び内定金額の状況は良好か。	全学、学部、研究科、センターごとに、申請件数、内定件数、内定金額を比較。
項目12 競争的外部資金（科研費を除く）の採択状況	○競争的研究資金の受入状況（件数・金額）は良好か。	全学と学部・研究科、センター等に分け、件数と金額について比較。
項目13 共同研究・受託研究の実施状況	○共同研究・受託研究の受入状況（件数・金額）は良好か。	全学と学部・研究科、センター等に分け、件数と金額について比較。
項目14 寄附金の受入状況	○寄附金の受入状況（件数・金額）は良好か。	全学と学部・研究科、センター等に分け、件数と金額について比較。
項目15 FD研修会の実施状況	○ファカルティ・ディベロップメントが、適正に実施されているか。 また、ファカルティ・ディベロップメントが、教育活動の改善に結び付いているか。	FDを実施状況、授業の改善例に基づき、評価。
項目16 授業改善に向けての取組状況	【学部】 ○授業評価を実施しているか。 また、授業評価結果は、授業の改善に有効に活用されているか。 【大学院】 ○授業改善につながる取組は行っているか。	実施状況、結果の公表状況、授業の改善例にもとづき、評価。 ①原則としてすべての授業での実施、 ②教員への結果のフィードバック、 ③学生への結果の公表、 ④結果に基づく授業の改善
項目17 自己点検・評価の実施状況	○自己点検・評価を実施しているか。 ○評価結果を大学内及び社会に対して広く公開しているか。 ○外部者（当該大学の教職員以外の者）による検証が実施（外部評価）されているか。	実施状況 結果の公表状況 外部評価の実施状況
項目18 卒業（修了）生や就職先等の関係者からの意見聴取等の実施状況	○卒業（修了）生や、就職先等の関係者から意見聴取を行い、社会からのニーズ等を把握しているか。	実施状況に基づき、評価。
項目20 内部質保証が機能していることのエビデンス	○自己点検・評価の結果を踏まえて決定された対応措置の実施計画に対して、計画された取組が成果を上げているか、又は計画された取組の進捗が確認されているか、あるいは、取組の計画に着手していることが確認されているか。	実施状況
項目28 千葉大学学習状況・情報利用環境調査	○附属図書館および千葉大学の学習環境の整備状況、学生の学習行動と学習成果の関連の検証が実施されているか。	実施状況

2. 点検のみ実施する項目

点検項目	資料の整理方法
項目19 教員公募の実施 状況	新規採用における公募率の経年比較のグラフを作成。
項目21 年俸制・クロス アポイントメン ト教員数	教員数の経年比較のグラフを作成。
項目22 テニユアトラッ ク制の実施状況	教員数等の経年比較のグラフを作成。
項目23 留学生等の数	学生数の経年比較のグラフを作成。
項目24 社会人学生数	学生数の経年比較のグラフを作成。
項目25 海外留学・海外 派遣の実施状況	学生数の経年比較のグラフを作成。
項目26 産業財産権・特 許の出願・取得 状況	産業財産権の総保有件数、特許の出願・取得件数、ライセンス契約の件数・収入について経年比較のグラフを作成。
項目27 研究業績の発表 状況	発表数等の経年比較のグラフを作成。

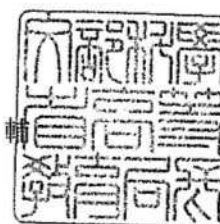
27文科高第423号

平成27年7月31日

各国立大学法人学長 殿

文部科学省高等教育局長

吉 田 大 輔



(印影印刷)

平成28年度以降の国立大学の学部における定員超過の抑制について（通知）

国立大学の学部における定員超過の抑制に係る取扱いについては、平成20年2月14日付け19文科高第715号高等教育局長通知のとおり実施しておりますが、このたびその内容を一部見直し、平成28年度から下記のとおり取り扱うことといたしますので通知します。

各国立大学法人においては、本通知を踏まえ、学生定員の管理により一層適正を期すようお願いいたします。

記

1 見直しの趣旨

大学における学生定員の管理については、大学教育の質の保証の一環として、適正な教育環境を保持する観点から適切に取り組むことが必要である。

特に、現在政府及び大学等において取り組んでいる高大接続改革や大学教育の質的転換の観点からも、学生定員をより一層適正に管理し、教員一人当たりの学生数などの教育条件の維持・向上に努めることが重要である。

また、入学定員超過の適正化については、「まち・ひと・しごと創生基本方針」（平成27年6月30日閣議決定）において、大都市圏への学生集中を抑制する観点からも喫緊の課題とされている。このため、教育条件の維持・向上及び地方創生の観点を踏まえ、国立、公立

及び私立の大学全体の定員管理の一層の適正化を図ることとし、国立大学については、これまでの仕組みを一部見直し、基準定員超過率の厳格化等の措置を講ずることとしたものである。

2 見直しの内容

(1) 基準定員超過率の厳格化

ア 実施時期と適用年度

平成 28 年度から段階的に実施する。

適用は平成 28 年度入学者からとし、平成 27 年度以前の入学者は現行どおりとする。

イ 適用の区分

学部ごとの入学定員に対する入学者数とする。

収容定員に対する在学者数については、現行どおりとする。

ウ 具体的な措置

学部ごとの入学定員に係る基準定員超過率は、平成 30 年度までに次の表のとおり、学部ごとの入学定員の規模によって、各学部を大規模・小規模・中規模に分類し、各規模に応じた基準定員超過率を設定する。

【定員規模毎の基準定員超過率】

規模 充足率	大規模学部 (学部入学定員 300 人超)	中規模学部 (学部入学定員 100 人超 300 人以下)	小規模学部 (学部入学定員 100 人以下)
現 行	110%以上		120%以上
見直し後	<u>105%以上</u>	110%以上	<u>115%以上</u>

基準定員超過率以上の入学生分については、現行どおり超過入学生分の授業料収入相当額の全額を、運営費交付金債務のまま収益化できない取扱いとし、当該運営費交付金債務を翌事業年度以降へ繰り越し、中期目標期間終了時に国庫納付する。

なお、基準定員超過率について、平成 30 年度までの間、次の表のとおり経過措置を設ける。

【定員規模毎の基準定員超過率の経過措置】

	大規模学部	中規模学部	小規模学部
平成 27 年度 (現行)	110%以上		120%以上
平成 28 年度	109%以上	110%以上	119%以上
平成 29 年度	107%以上	110%以上	117%以上
平成 30 年度 以降	105%以上	110%以上	115%以上

(2) 平成 31 年度以降の取扱いについて

(1)の取扱いに加え、平成 31 年度からは、入学定員充足率が 100%を超える場合に、超過した入学生分の教育費相当額を国庫納付する取扱いを予定している。教育費相当額を国庫納付する対象は、入学定員を超えた入学生のうち、基準定員超過率未満の入学生の相当分とする。

なお、国庫納付に係る教育費相当額は、上記の中規模学部については超過入学生に係る教育費相当額の 1/2、小規模学部については超過入学生に係る教育費相当額の 1/3 とすることを検討している。具体的な詳細等については、平成 30 年度までの各国立大学の定員充足率の状況を勘案しながら引き続き検討し、別途通知することとする。

(例) A 学部 (入学定員 400 名、入学者 425 名) ※平成 31 年度以降

・基準定員超過率：105%以上 (大規模学部) に該当)

① 基準定員超過率に係る入学生数を超える入学生分：6 名

→ 当該 6 名分の授業料収入相当額の全額を国庫納付

② 入学定員充足率 100%を超える入学生分：19 名

→ 当該 19 名分の教育費相当額の全額を国庫納付

3 算定の方法について

入学者数の調査、定員超過率の算定、及び国庫納付する超過授業料収入相当額の算定については、現行どおりとする。

また、平成 27 年度より在学者数から控除する者のうち、留年者の取扱いの見直しを実施しているが、この取扱いに変更はない。

【参考：留年者の見直し内容】

- ・全科目で学修目標、授業方法・計画、成績評価基準を明示することに加え、成績評価にGPA制度を導入すること、成績不振の学生への個別指導を行うことを要件に、2年以内の留年者（2年間海外留学をしていた場合は3年以内の留年者）を、在籍者数から控除する。

4 その他

今回の定員管理の適正化に向けた方策としては、この通知の内容のほか、私立大学については、大都市圏への学生の集中が顕著であることを踏まえて、私立大学等経常費補助金の取扱いにおける定員充足率の基準を平成28年度から段階的に厳格化することとしている。また、私立大学及び公立大学における学部の新設、収容定員の増など大学等の設置認可の審査基準についても、平成28年度から段階的に厳格化を行うこととしている。

【本件担当】

文部科学省高等教育局

国立大学法人支援課支援第四係

電話：03-5253-4111（内線3344）

基準5-3 実入学者数が入学定員に対して適正な数となっていること

分析項目5-3-1 実入学者数が、入学定員を大幅に超える、又は大幅に下回る状況になっていないこと

【分析の手順】

- ・ 学生募集を行う組織単位ごとの過去5年間の入学定員に対する実入学者の割合の平均を確認する。
- ・ 学部又は研究科の単位において、実入学者数が「入学定員を大幅に超える、又は大幅に下回る」状況になっている場合は、その適正化を図る取組がなされていることを確認する。

※実入学者数には、秋期入学者のほか、国費留学生や外国政府派遣留学生等の入学者を含める。

※学生募集を行う組織単位ごとの過去5年間の入学定員に対する実入学者の割合の平均に関しては、適切な教育環境を確保する観点を重視し、「1.3倍以上」、又は「0.7倍未満」の場合は、「大幅に超える」、又は「大幅に下回る」とする。

【分析項目に係る根拠資料・データ】

- ・ 認証評価共通基礎データ様式【大学用】様式2
- ・ 実入学者数が「入学定員を大幅に超える」、又は「大幅に下回る」状況になっている場合は、その適正化を図る取組が確認できる資料

【関係法令等】

- ・ 大学設置基準第50条第3項（国際連携学科の設置）
 - ・ 専門職大学設置基準第66条（国際連携学科の設置）
 - ・ 大学院設置基準第35条第3項（国際連携専攻の設置）
 - ・ 専門職大学院設置基準第35条第3項（国際連携専攻の設置）
 - ・ 平成15年3月31日文科省告示第四十五号（大学、短期大学、高等専門学校等の設置の際の入学定員の取扱い等に係る基準）
 - ・ 平成27年9月18日27文科高第593号局長通知（大学、大学院、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準の一部を改正する告示の施行について）
-

中期目標期間の業務実績評価における定員超過の状況の確認・指摘方法について

1. 定員超過率の算定方法

(1) 確認単位

中期目標別表に記載されている学部・研究科等を単位とする。

(2) 基準時

平成28年度から平成33年度までの各年度の5月1日現在の状況とする。

(3) 定員超過率

収容定員に対する在学者の割合を定員超過率とする。その際、以下の点に留意する。

- ① 外国人留学生のうち、国費留学生、外国政府派遣留学生、大学間交流協定等に基づく私費外国人留学生及び留学生のための特別コースに在籍する私費外国人留学生については、在学者数から控除する。
 - ② 休学者については、在学者数から控除する。
 - ③ 留年者及び在学者のうち標準修業年限内に学位を取得できなかった者については、当該学部のシラバス等に全ての講義等ごとに学習目標や授業方法及び授業計画、並びに成績評価基準が明示されていることを条件として、修業年限を越える在籍期間が2年以内の者は在学者から控除する。
 - ④ 長期履修学生については、以下の算定によって得られた数を在学者数から控除する。控除する数は、長期履修学生数から、履修年限が同一の期間である長期履修学生数ごとに修業年限を履修する年限で除した数（小数点第3位切捨て）を乗じて算出した数の合計数（小数点第1位切上げ）を減じた数とする。
- ※ 実績報告書において各年度における学部、研究科等ごとの上記①から④の数及びそれらを控除した定員超過率を記載する。

2. 定員超過の状況の確認・指摘

- (1) 評価に際しては、平成33年度（国立大学法人法第31条の2第1項第2号に定める評価（以下、「4年目終了時評価」という。）においては、平成31年度）における定員超過率が110%の目安を上回っている学部、研究科等がある場合に、それぞれ平成28年度からの推移及び超過が生じた理由等を確認の上、必要に応じて、入学定員の見直しを含め定員超過の改善に努めることを指摘する。
- (2) 特に、平成28年度から平成33年度までの期間（4年目終了時評価においては、平成28年度から平成31年度）を通じて一貫して定員超過率が110%を上回っており、定員超過の解消に向けた取組が不十分であると認められる学部、研究科等がある場合には、それぞれ入学定員の見直しを含め定員超過の改善を求める。
- (3) 定員超過の状況を確認するため、各年度において、超過率が110%の目安を上回っている学部、研究科等について、その理由を実績報告書に記載することとする。
- (4) 定員超過の状況についての指摘は、「教育研究等の質の向上」の項目の評価結果に付記することとする。